

## 佐屋小学校準備委員会について

## 1. 委員

氏名	職務	区分	備考
鈴木 賢一	委員長	有識者	名古屋市立大学 学長補佐
石原 一孝	副委員長	自治会代表	落合町総代
佐藤 光男	委員	自治会代表	日置町総代
岩田 有司	委員	学校評議員	佐屋小学校学校評議員
中島 悦夫	委員	学校評議員	佐屋小学校学校評議員
下里 亘	委員	保護者代表	佐屋小学校 PTA
岩佐 浩司	委員	保護者代表	佐屋小学校 PTA
成田 亜耶	委員	公募	佐屋小学校区 未就学児保護者
永森 文子	委員	公募	佐屋小学校区 未就学児保護者
石原 早恵	委員	公募	佐屋小学校区
西 典子	委員	公募	佐屋小学校区
嶋藤 真由美	委員	学校関係者	佐屋小学校長

## 2. 令和7年度の実績

日付	会議名	内容
令和7年 7月29日	第4回準備委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和7年度目標、スケジュールの確認</li> <li>改築と長寿命化改修の比較</li> </ul>
令和7年 8月21日	第2回地域課題部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>学びの空間として必要な機能の意見徴収</li> <li>改築と長寿命化改修の比較</li> </ul>
令和7年 8月25日	第2回施設・通学路部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の学校として必要な機能の意見徴収</li> <li>改築と長寿命化改修の比較</li> </ul>
令和7年 9月18日	第5回準備委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>検討部会の報告</li> <li>佐屋小学校老朽化対策の手法に関する方針の決定 → <u>改築が望ましい</u></li> </ul>

令和8年 1月13日	第3回施設・通学路部会	・改築後の配置や機能について意見徴収
令和8年 1月15日	第3回地域課題部会	・改築後の配置や機能について意見徴収
令和8年 3月(予定)	第6回準備委員会	・改築後の配置に関する方針の決定 ・報告書の作成 (予定)

(案)

## 佐屋小学校老朽化対策基本計画

2026年1月

## 目次

1. 本基本計画の背景・目的.....	1
2. 与条件の整理 .....	2
2-1. 佐屋小学校の概要 .....	2
(1) 施設概要 .....	2
(2) 通学区域 .....	5
(3) 児童数・学級数の推移.....	5
(4) 周辺状況 .....	6
2-2. 施設整備に係る条件整理 .....	7
(1) 敷地概要 .....	7
(2) 記念樹、記念碑の整理.....	8
(3) 建築コンセプト.....	11
(4) 必要諸室、規模の検討.....	15
3. 配置計画、平面・ゾーニング計画の検討 .....	16
3-1. 配置計画、平面計画の検討方針 .....	16
3-2. 配置案の比較.....	17
3-3. 佐屋小学校準備委員会および教職員ヒアリング .....	18
(1) 佐屋小学校準備委員会.....	18
(2) 教職員ヒアリング .....	21
3-4. 基本計画案の配置方針 .....	22
4. 基本計画案 .....	23
4-1. 配置計画.....	23
4-2. 平面計画.....	24
4-3. 断面計画.....	26
4-4. 構造計画.....	26
4-5. 設備計画.....	27
4-6. 外構計画.....	27
4-7. 各室計画.....	28
4-8. 今後のスケジュール.....	32



## 1. 本基本計画の背景・目的

全国的に少子化が進行する中、愛西市でも児童生徒数は年々減少傾向にあり、多くの小中学校で小規模化が進んでいるのが現状です。愛西市の人口の将来推計では、今後も少子化の進行は避けられず、小中学校の小規模校のさらなる増加が進むことが予想されます。また、愛西市の小中学校は老朽化が深刻化しており、今後学校運営に支障を来すとともに学校生活の安全性にも影響を及ぼすおそれがあります。現状のままだと将来的に、教育環境への様々な課題が生じることが懸念されています。

各学校で教育課程を編制する際の基準となる学習指導要領は、昭和33年に定められ、その後、ほぼ10年毎に改訂されています。小学校の学習指導要領は、平成29年3月に改訂され、これまで大切にされてきた、子どもの「生きる力」を育むため、知識の理解の質を高め資質・能力を育む「主体的・対話的で深い学びの実現（アクティブ・ラーニング）」の視点からの授業改善が盛り込まれています。また、令和3年1月の中央教育審議会で、2020年代を通じて実現を目指す学校教育を『令和の日本型学校教育』とし、その姿を「全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学び」としています。これらの実現のため、ICT環境の整備や多様な学習展開に対応できる多目的スペースの整備が求められています。さらに、インクルーシブ教育システムの構築や合理的配慮の基礎となる環境整備（バリアフリー化）や有事の際の避難所としての防災機能、学校における働き方改革の推進、脱炭素社会の実現に貢献する施設整備など、学校施設に求められる機能は多岐に渡ります。

愛西市では、子どもたちにとってより良い教育環境を整えるため、取り巻く環境の変化等を踏まえつつ、将来を見通した学校統廃合等の具体的施策を示すことを目的として令和6年3月に「愛西市立小中学校適正規模等並びに老朽化対策基本計画」を策定しました。この計画の具体的施策として、佐屋小学校は老朽化対策を実施することとなりました。

施設の老朽化状況やこれからの学校施設に必要な機能整理を行い、老朽化対策の基本的な方向性を示すため令和7年12月に「佐屋小学校老朽化対策基本構想」を取りまとめました。本基本計画はこの基本構想をもとに、必要諸室の整理や配置、平面計画等、設計を進めるうえで必要な基本条件を整理することを目的とします。

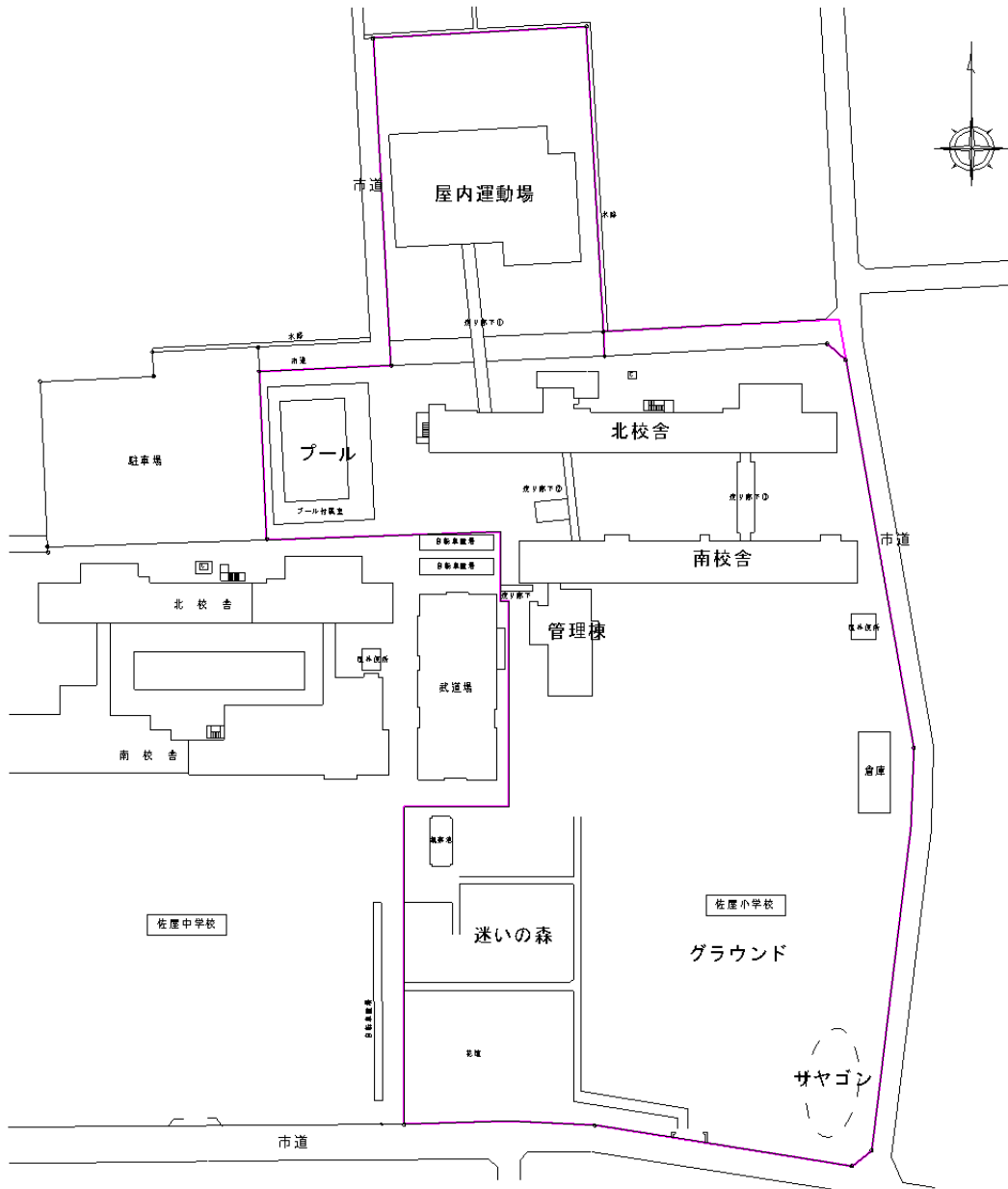
## 2. 与条件の整理

### 2-1. 佐屋小学校の概要

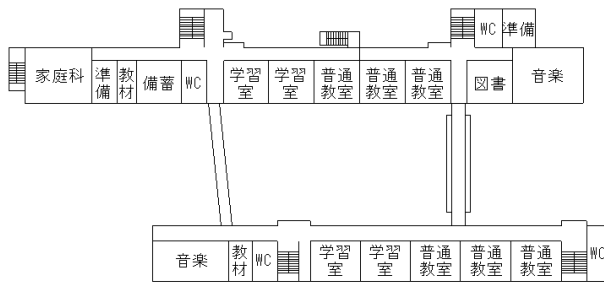
#### (1) 施設概要

所在地	愛西市須依町東田面 17 番地					
敷地面積	23,581 m <sup>2</sup>					
施設内容	建物敷地 14,183 m <sup>2</sup> 、運動場用地 9,398 m <sup>2</sup>					
延床面積	校舎 7,033 m <sup>2</sup> 、屋内運動場 1,198 m <sup>2</sup>					
施設	棟別	棟	建築年	面積 (m <sup>2</sup> )	構造	階数
	北校舎	東棟	昭和 53 年	1,498	RC	3
		中棟	昭和 48 年	1,888	RC	3
		西棟	昭和 48 年	159	RC	3
	南校舎	東棟	昭和 40 年	1,113	RC	3
		中棟	昭和 44 年	744	RC	3
		西棟	昭和 46 年	675	RC	3
		南棟	昭和 57 年	324	RC	1
	体育館		昭和 55 年	1,198	RC	1

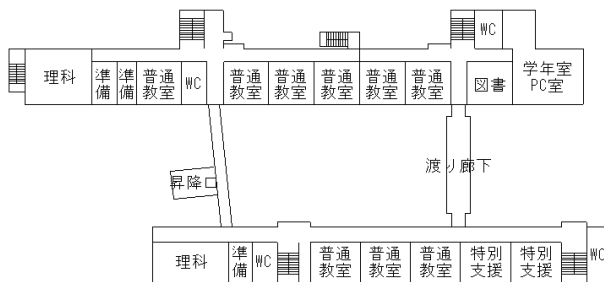
校舎配置図



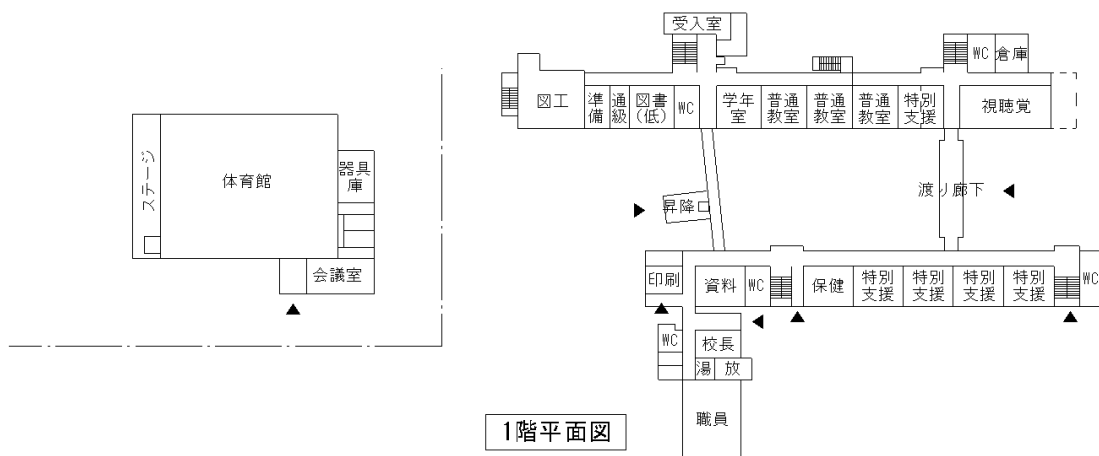
校舎平面図 (令和7年度時点)



3階平面図

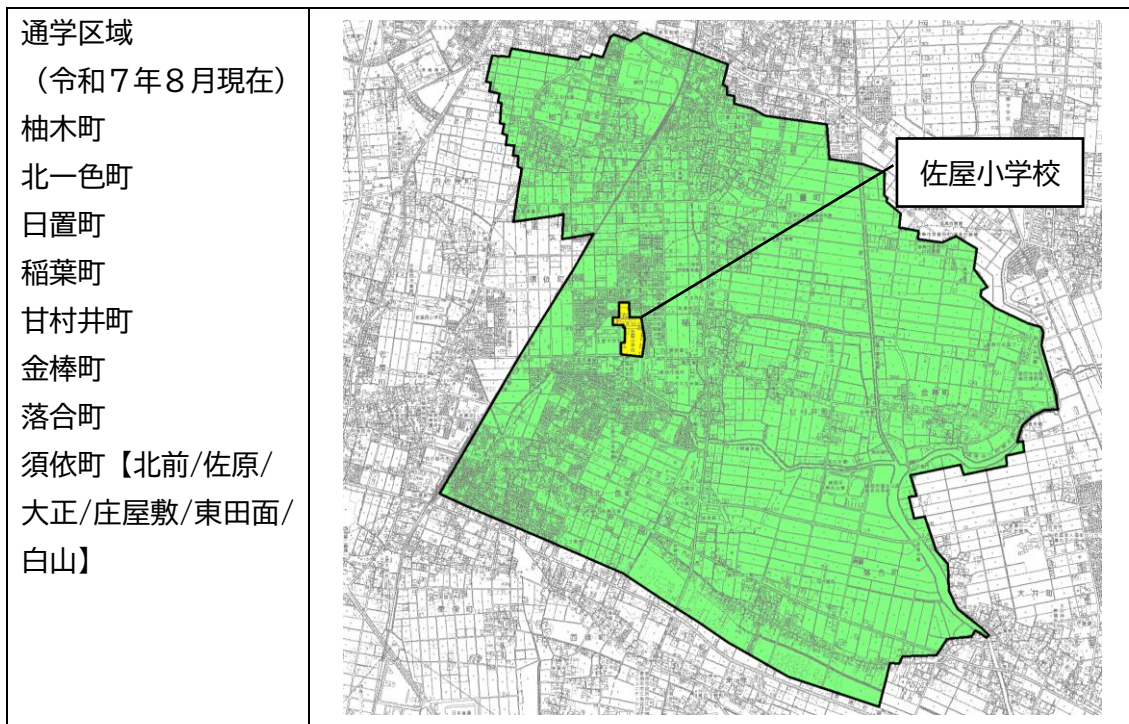


2階平面図



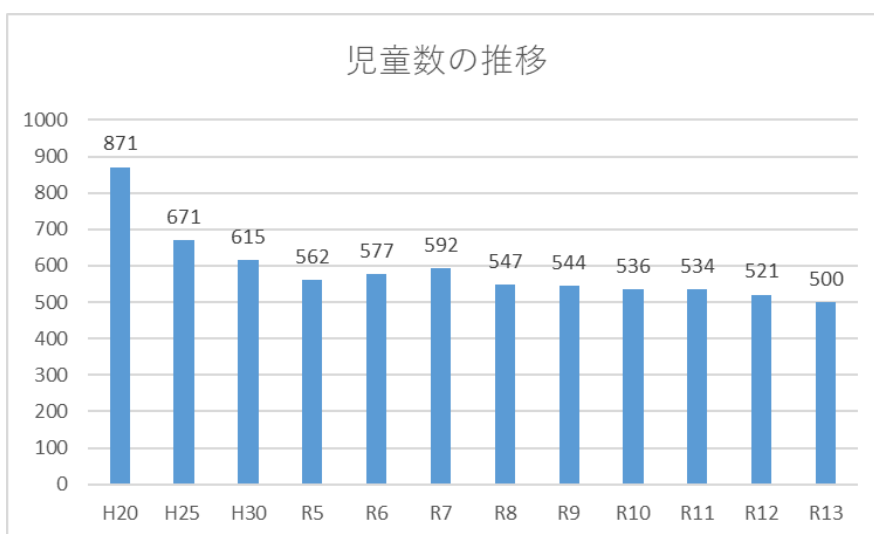
1階平面図

## (2) 通学区域



## (3) 児童数・学級数の推移

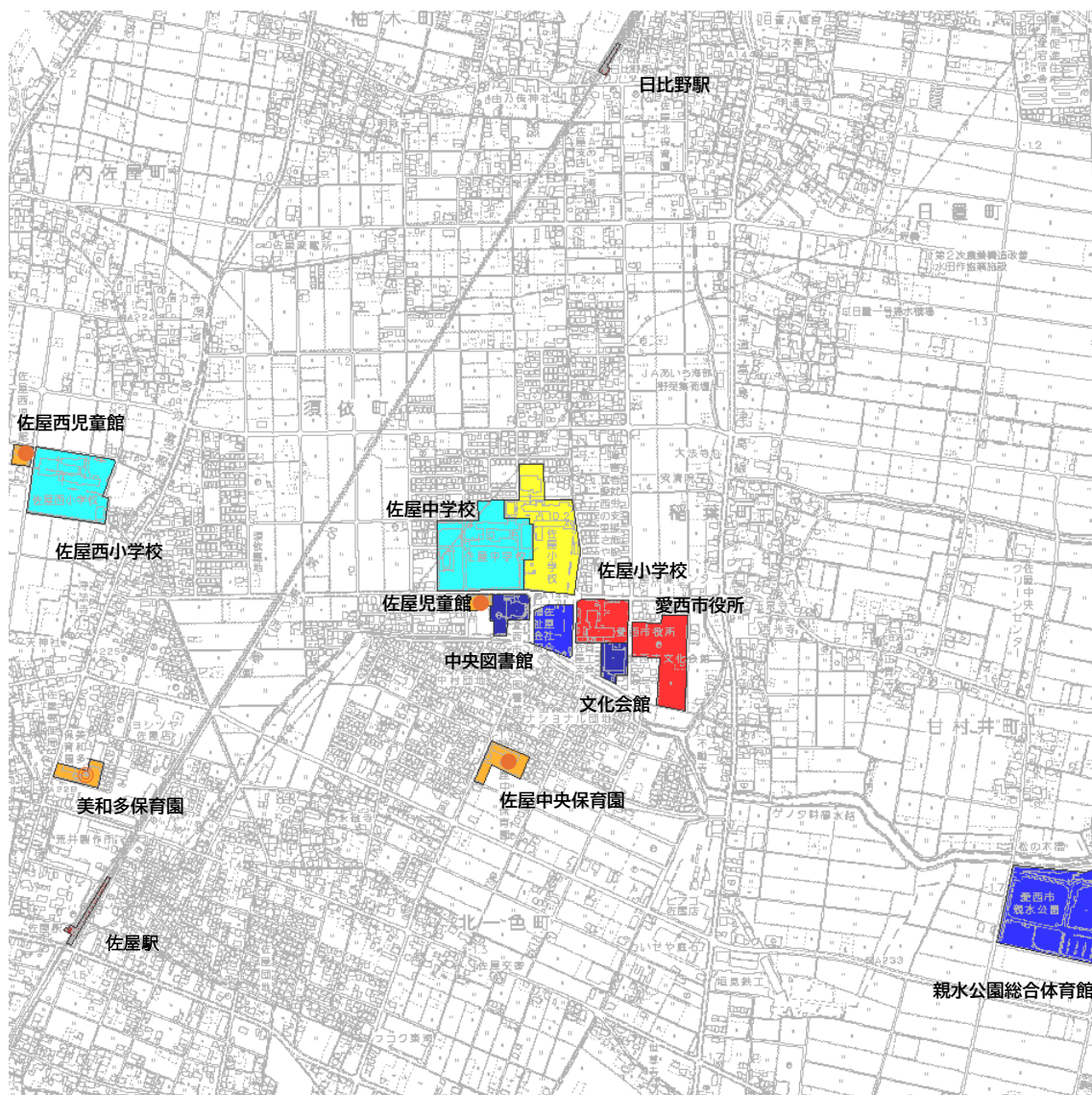
年度	H20	H25	H30	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
児童数	871	671	615	562	577	592	547	544	536	534	521	500
学級数 (通常学級)	25	21	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
学級数 (支援学級)	3	2	6	6	7	8	/	/	/	/	/	/









※令和7年5月1日現在の推計

#### (4) 周辺状況

佐屋小学校は、名古屋駅鉄道日比野駅の南約 1.2 km、名古屋鉄道佐屋駅の北東約 1.2 km に位置しています。周辺には、西側に佐屋中学校、南側に愛西市中央図書館や愛西市役所などの公共施設があり、東側・北側は住宅地となっています。



#### <凡例>

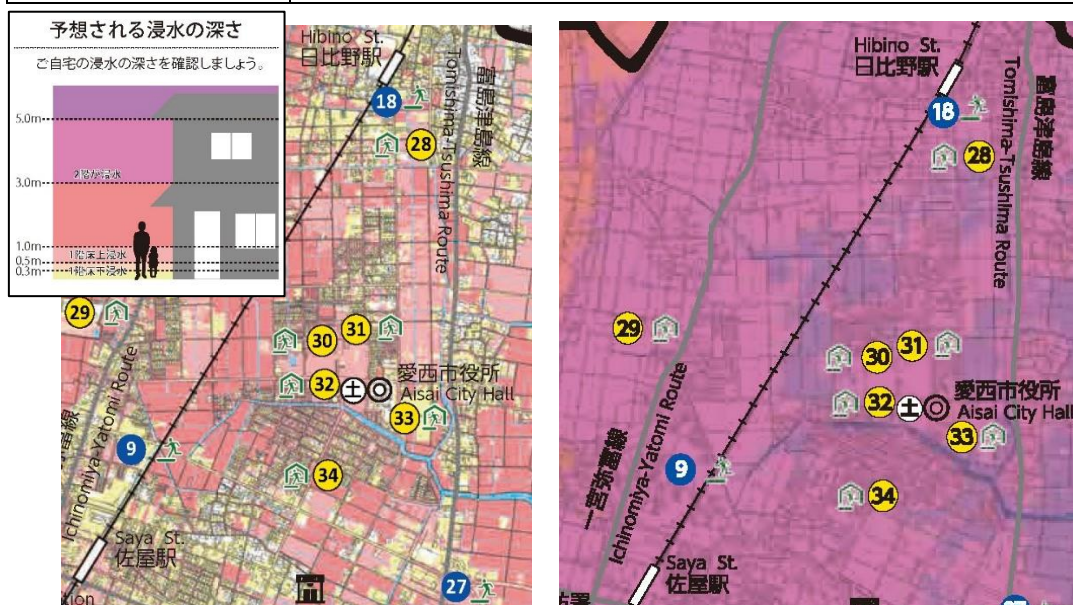
	市役所		小・中学校		生涯学習施設
	市立保育園 児童館		民間保育所		駅



## 2-2. 施設整備に係る条件整理

### (1) 敷地概要

住居表示	愛西市須依町東田面 17 番地
敷地面積	23,581 m <sup>2</sup>
地域地区	市街化区域、第 1 種中高層住居専用地域、法 22 条区域
建ぺい率・容積率	60%・200%
日影規制	4 時間、2.5 時間、測定面 4 m
接道状況	南側：市道 24 号線、幅員 12.6~13.0m 東側：市道 1083 号線、幅員 5.0~6.1m 屋内運動場西側：市道 1088 号線、幅員 4.5~6.0m ※既存校舎北側の道は学校敷地内
都市設備	排水：公共下水道共用区域 ガス：愛西市ガス協同組合（LP ガス） 電力：中部電力、岐阜電力
ハザードマップ	洪水浸水想定：0.5m~1.0m（計画規模）、1~3m（最大） 高潮浸水想定：3.0m~5.0m 津波浸水想定：1.0m~3.0m（最大）



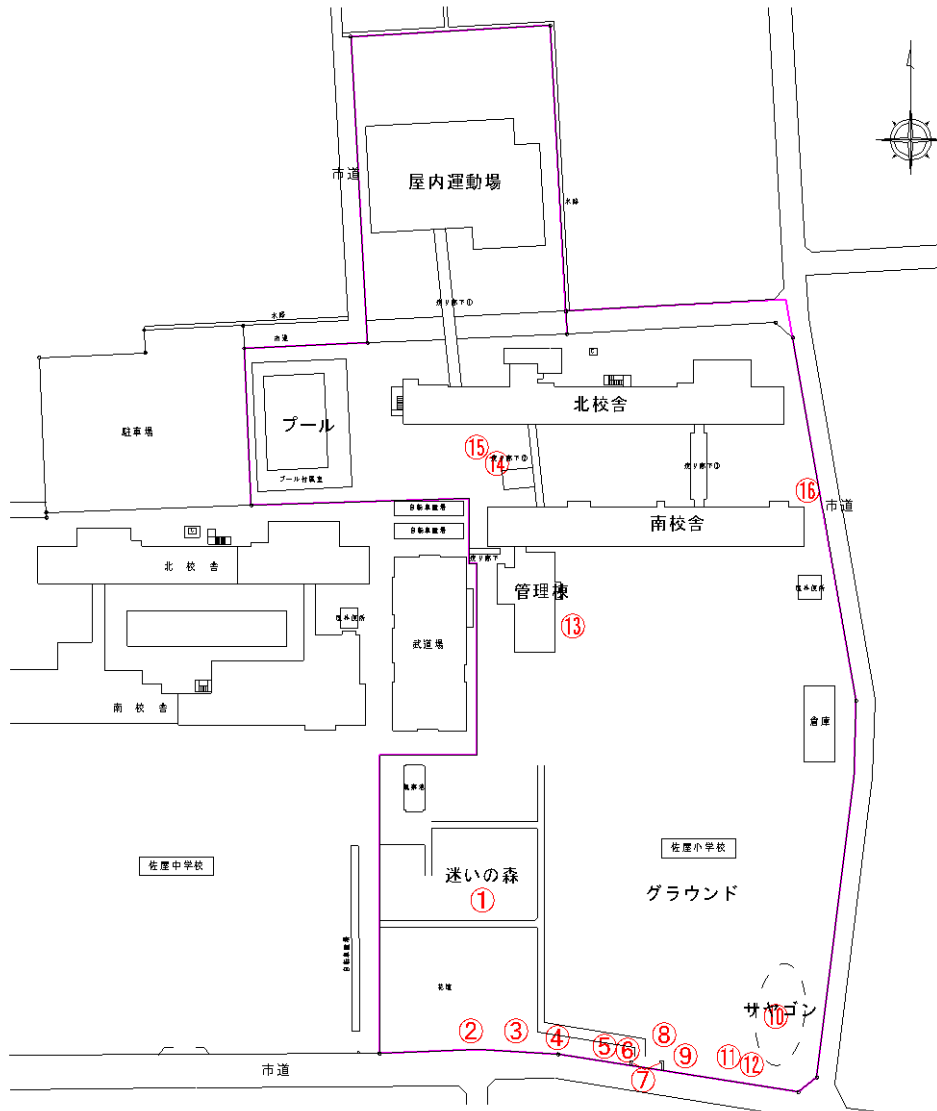
洪水ハザードマップ（木曾川水系、計画規模）

高潮ハザードマップ

※③：佐屋小学校

## (2) 記念樹、記念碑の整理

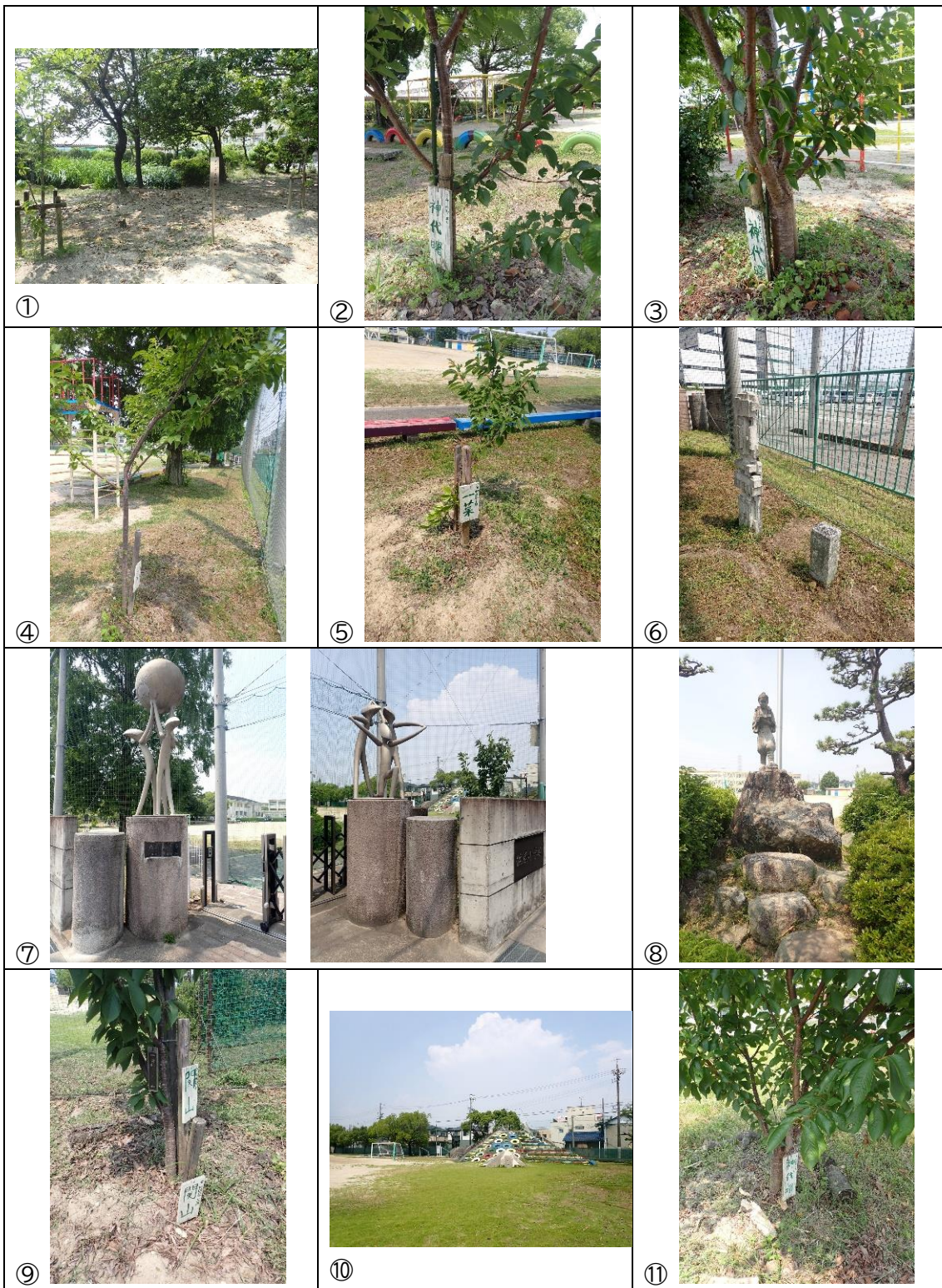
敷地内の記念樹、記念碑は以下の通りです。老朽化の状況を鑑みて保存するものを検討していきます。



記念樹・記念碑等位置図



記念樹・記念碑等写真





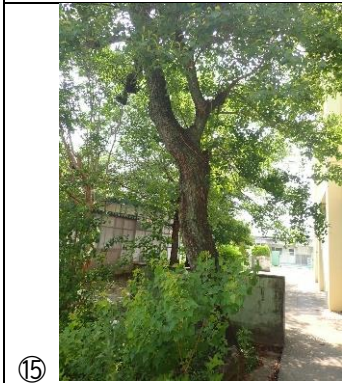
⑫



⑬



⑭



⑮



⑯



### (3) 建築コンセプト

#### 建築コンセプト

学校施設として  
**みんなのウェルビーイングを大切にする安心・安全な学校**  
地域の学校として  
**学校と地域の絆を深める、みんなが行きたくなる学校**

#### 5つの方向性と基本的な考え方

##### 【1】学び

#### ゆとりあるスペースの確保と多様な教育的ニーズに対応した居場所づくり

これからの情報化、国際化など社会状況の変化に対応できる学校教育を推進するために、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実が求められています。その実現のため、児童の習熟度に応じた学習や少人数指導、学習教育のICT化等、近年の学習内容や学習形態の多様化に対応した教育環境の整備が必要です。また、様々な背景により多様な教育的ニーズのある児童に対して、自立と社会参加を見据えた指導を提供するインクルーシブ教育への対応も求められています。

#### <基本的な考え方>

##### ■多様な教育への対応

- ・ タブレット端末利用を想定した電源や収納場所の整備、学校内各所のWi-Fi環境の整備など、ICT教育に対応した計画とします。
- ・ 教室内・教室近傍での十分な収納や個人・グループなどの多様な学習形態の場として、教室周辺に多目的スペースを設置します。
- ・ 将来の学級数の変動や間取りの変更に対応できる構造計画とします。

##### ■インクルーシブな教育環境の整備

- ・ エレベータの設置、段差の解消、多目的トイレの設置などの施設のバリアフリー化を行います。
- ・ 様々な特性の子ども達に対応できる柔軟性のある教室づくりを行います。
- ・ 不登校児童の支援やクールダウンスペースの設置など、居場所の選択肢をつくれます。
- ・ 遮音・吸音性の向上や掲示スペースの配置の工夫など、子ども達が集中できるよう配慮した計画とします。

##### 【2】生活

#### 快適な室内環境と絆を育む交流空間づくり

学校は児童が一日の大半を過ごす「生活の場」となることから、情緒の安定が図れ、豊かな人間性を育む空間として整備することが重要です。また、児童の視点だけでなく教職

員の視点でも、教職員が教育活動に集中できる環境づくり、学校における働き方改革の推進が求められています。

#### <基本的な考え方>

- ・ 自然採光・通風の確保や木質化による暖かみのある内装などによる居心地の良い空間づくりを行います。
- ・ 空調設備の整備やトイレ・手洗いの充実、各学年の更衣室の設置など、良好な生活環境のための設備を充実させます。
- ・ 学年で集まれるスペースや異学年交流を促す広い図書室を整備します。
- ・ 遊具の充実した広いグラウンドを整備し異学年の児童がのびのびと活動できる環境を整備します。また、グラウンドに出やすいまとまった昇降口とし気軽に屋外活動ができるよう配慮します。
- ・ 教職員のパフォーマンスを高める執務環境整備のため、打合せ等のスペース確保や教職員の更衣室、休憩室、トイレなどを教職員がリフレッシュできる空間整備を行います。

### 【3】共創

#### 災害時の連携につながる地域と学校の接点づくり

学校施設は、地域にとって最も身近な公共施設として、地域活動や生涯学習の場として、また、災害時には地域の防災拠点としての役割を担っており、学校と地域社会の連携・協働を推進していくことが求められています。

#### <基本的な考え方>

##### ■地域活動や生涯学習の場として

- ・ 地域住民と交流が図れる多目的室など、学校施設を地域が有効利用できるよう地域開放エリアを設定します。
- ・ 地域開放エリアは放課後や長期休暇中の子ども達の居場所づくりにも活用できるようにします。

##### ■災害時の連携につながる計画

- ・ 地域開放エリアの設定は避難所利用するエリア設定に応用できる計画とし、地域住民が学校内の配置や設備の理解を深めスムーズに避難所運営に移行できるよう配慮します。
- ・ 通常時および災害時における敷地内での保護者の送迎車両動線や引き渡しまでの待機スペースを整備し、保護者への引き渡しが行えるようにします。

### 【4】安全

#### 日常から災害時まで安心・安全に寄与する機能強化

近年、気候変動等の影響により、地震のみならず、台風や集中豪雨等の発生など、災害

が多様化・頻発化しています。また、建物は適切な維持管理を行わないと経年劣化により安全性が低下していきます。学校は未来を担う児童の安全を守るため、また地域の避難所としての役割を果たすため、様々な視点での安全性の強化が必要です。

#### <基本的な考え方>

##### ■防災対策について

- ・ 浸水を考慮したフロアレベル設定、避難所となる屋内運動場や重要設備の上階設置、雨水流出抑制のための貯留槽の設置など、水害対策を行います。
- ・ 災害発生時や非常時において命を守る施設とするために、構造体の耐震安全性確保、非構造部材や建築設備の耐震化を行います。
- ・ 備蓄倉庫の設置や災害時の電源確保のための太陽光発電や自家発電設備の設置、マンホールトイレの設置などを検討し、避難所としての機能確保を行います。

##### ■防犯対策について

- ・ フェンスの設置や出入口の施錠・インターフォンによる出入り管理、防犯カメラや機械警備の活用など、不審者の侵入を抑制する計画とします。
- ・ 防犯設備に加え、敷地内外の見通しや管理諸室の配置に配慮し、人の目の確保による安全管理を行います。

##### ■維持管理について

- ・ 日常清掃や維持管理、設備機器等の修繕・更新などが行いやすいようメンテナンス動線に配慮した計画とします。
- ・ 耐用年数やメンテナンス性に配慮した仕上げ選定を行います。

## 【5】環境

### 緑豊かな環境の継承と災害時の避難所機能に資する環境対策

佐屋小学校では迷いの森をはじめ敷地内に緑が多い環境ですが、高木中心のため維持管理の負担も大きい状況です。緑豊かな環境を継承していくためには維持管理への配慮が必要です。また、脱炭素社会の実現に向けて、全国的に省エネルギー化や再生可能エネルギーの導入が求められていますが、学校施設における環境対策はエネルギーの削減だけでなく、環境教育や災害時への活用も視野に入れて効果的に導入していくことが必要です。

#### <基本的な考え方>

- ・ 環境負荷に配慮した「エコスクール」を目指し、自然エネルギーの活用、省エネルギー対策、資源の再利用等環境に配慮した施設とします。

#### <エコスクールの基本的な考え方>

##### 1. 施設面…やさしく造る

- ・ 学習空間、生活空間として健康で快適である
- ・ 周辺環境と調和している
- ・ 環境への負荷を低減させる設計・建設とする

## 2. 運営面…賢く・永く使う

- ・耐久性やフレキシビリティに配慮する
- ・自然エネルギーを活用する
- ・無駄なく、効率よく使う

## 3. 教育面…学習に資する

- ・環境教育にも活用する

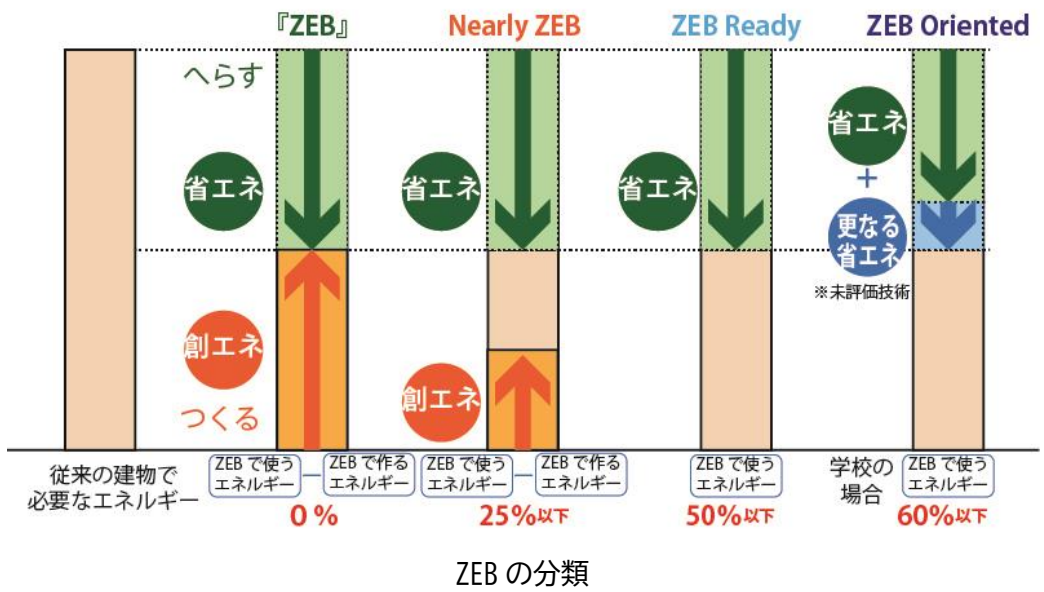
- ・維持管理しやすい植栽選定を行い、緑豊かな環境を継承していける計画とします。
- ・太陽光発電などの災害時にも機能する設備の導入、高断熱化や自然通風・採光などの設備に頼らない省エネ対策等、災害時の避難所機能に資する環境対策を行います。
- ・高断熱化やエネルギーの効率的な利用を図り、ZEB Oriented\*相当以上を目指します。

### <ZEBとは>

「Net Zero Energy Building (ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)」の略称。先進的な建築設計によるエネルギー負荷の抑制やパッシブ技術の採用による自然エネルギーの積極的な活用、高効率な設備システムの導入等により、室内環境の質を維持しつつ大幅な省エネルギー化を実現した上で、再生可能エネルギーを導入することにより、エネルギー自立度を極力高め、年間の一次エネルギー消費量の収支をゼロとすることを目指した建築物。

ZEBの評価・分類は以下の4つに分かれる。

- ・ 『ZEB』(ゼブ) …省エネ+創エネで0%以下まで削減
- ・ Nearly ZEB (ニアリーゼブ) …省エネ+創エネで25%以下まで削減
- ・ ZEB Ready (ゼブレディ) …省エネで50%以下まで削減
- ・ ZEB Oriented (ゼブオリエンテッド) …延べ面積が1万㎡以上の建物で省エネ(学校の場合は40%削減)



#### (4) 必要諸室、規模の検討

##### 【校舎】

部門	室名	室数	1室面積	地域開放
クラスルーム	普通教室	18室	72㎡	
	少人数教室	各学年1室	36㎡	
	更衣室	各学年1室	36㎡	
	多目的スペース	適宜	適宜	
	クールダウンスペース	適宜	適宜	
	特別支援学級	8室	36㎡	
	特別支援教室	1室	72㎡	
	校内教育支援センター	1室	36㎡	
特別教室	理科室・準備室	2室	144㎡	
	音楽室・準備室	2室	144㎡	○
	図工室・準備室	1室	144㎡	(○)
	家庭科室・準備室	1室	144㎡	○
	図書室・準備室	1室	180㎡	(○)
	多目的室・準備室	1室	180㎡	○
管理諸室	校長室・応接室	1室	48㎡	
	職員室	1室	180㎡	
	事務室	1室	36㎡	
	印刷室	1室	36㎡	
	給湯室	1室	18㎡	
	放送室	1室	36㎡	
	会議室	1室	72㎡	
	小会議室	1室	36㎡	
	保健室	1室	72㎡	
	相談室	1室	18㎡	
	職員更衣・休憩室	男女各1室	36㎡	
	主事室	1室	36㎡	
	資料室・倉庫・教材室	適宜	合計 180㎡	
	備蓄倉庫	1室	72㎡	
	PTA室・地域連携室	1室	36㎡	
	給食受入室	1室	108㎡	
	配膳室	各階1室	36㎡	
共用部	昇降口	1室	216㎡	
	職員玄関・来客玄関・地域開放玄関	適宜	適宜	
	待機スペース	適宜	適宜	
	トイレ（児童用）	適宜	適宜	
	トイレ（職員来客用）	男女各1室 だれでも1室	適宜	
	その他廊下・階段・EV等	適宜	適宜	

### 【屋内運動場】

部門	室名	室数	1室面積	地域開放
屋内 運動場	アリーナ	1室	832㎡	○
	ステージ	1室	120㎡	○
	器具庫	適宜	合計 55㎡	○
	放送室	1室	7㎡	
	控室	1室	12㎡	
	会議室	1室	64㎡	○
	トイレ	男女各1室 だれでも1室	適宜	○
	更衣室	男女各1室	16㎡	○
	玄関	1室	36㎡	○
	その他共用部	適宜	適宜	○

### 【屋外付帯施設】

部門	室名	室数	1室面積	地域開放
屋外 付帯	屋外倉庫	1室	170㎡	
	屋外トイレ	男女各1室 だれでも1室	適宜	○
	ゴミ置き場	1室	適宜	

校舎等合計面積 約 11,000㎡

### 【屋外施設】

- ・校庭（150mトラック、50m直線）
- ・遊具スペース
- ・緑地スペース
- ・来客用駐車場 13 台程度（車椅子利用者用駐車場含む）
- ・職員用駐車場 55 台程度
- ・給食用駐車場 1 台

## 3. 配置計画、平面・ゾーニング計画の検討

### 3-1. 配置計画、平面計画の検討方針

与条件を踏まえ、迷いの森及びサヤゴンを現位置で保存するかどうか、校舎を高層化するか低層化するか、工事を1度にまとめて行うか2段階に分けるか、を分岐の視点として配置案を複数比較検討しました。各案の概要については次項の通りです。



3-2. 配置案の比較

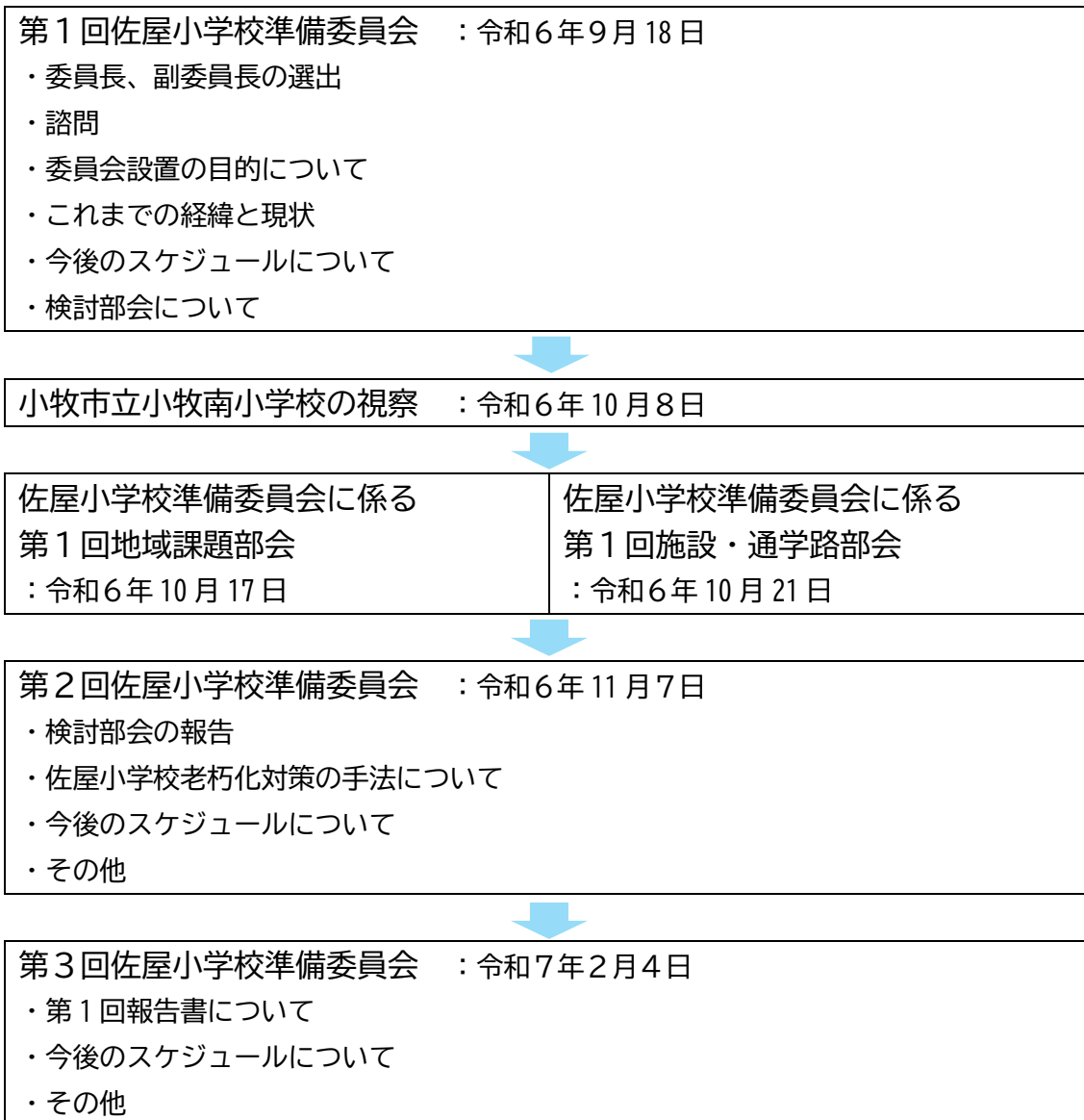
	案1	案2	案3	案4	案5
配置 ゾーニング					
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南側校舎配置</li> <li>・迷いの森存置</li> <li>・4階建</li> </ul> ※(案1-1: サヤゴン存置) (案1-2: サヤゴン移設)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南側校舎配置</li> <li>・迷いの森を敷地北側に移設</li> <li>・極力低層化した案(3階建)</li> </ul> ※(案2-1: サヤゴン存置) (案2-2: サヤゴン移設)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南側校舎配置</li> <li>・迷いの森を敷地東側に移設</li> <li>・4階建</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南側校舎配置</li> <li>・迷いの森存置</li> <li>・高層化した案(5階建)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2段階工事とした北側校舎配置</li> <li>・迷いの森移設</li> <li>・4階建</li> </ul>
校舎 環境	○南向き教室 —4階建	○南向き教室 ○3階建のため移動の負担は少ない	○南向き教室 —4階建	○南・東向き教室 △5階建のため移動の負担が大きい	○南向き教室 —4階建
グラウンド 環境	○一体的なグラウンドが確保できる △一部建物の影の影響がある	○一体的なグラウンドが確保できる △一部建物の影の影響がある	○一体的なグラウンドが確保できる △一部建物の影の影響がある	○一体的なグラウンドが確保できる △一部建物の影の影響がある	△南北に分断するため、一体的に利用できる範囲は狭くなる ○南側は建物の影の影響がない
迷いの 森、サ ヤゴン	△迷いの森: 存置、日当たりが悪い (案1-1) △サヤゴン: 存置(単独) (案1-2) —サヤゴン: 移設	—迷いの森: 移設、グラウンド内 (案2-1) —サヤゴン: 存置(サブグラ ウンド隣接内) (案2-2) —サヤゴン: 移設	—迷いの森: 移設、昇降口と隣接 —サヤゴン: 存置、昇降口と隣接	—迷いの森: 存置、案1より日当りは 良い —サヤゴン: 存置、昇降口付近	—迷いの森: 移設、サブグラウンドと 隣接 —サヤゴン: 存置、グラウンド内
安全 管理	△管理ゾーンから登下校動線、グラウ ンドが見渡せるが、来客動線が視認で きない	△管理ゾーンから登下校動線、グラウ ンドが見渡せるが、来客動線が視認で きない	○管理ゾーンから登下校動線、来客動 線、グラウンドが見渡せる	△管理ゾーンから登下校動線・グラウ ンドは見渡せるが、来客動線が視認で きない	○管理ゾーンから登下校動線、来客動 線、グラウンドが見渡せる
送迎 動線	(案1-1): ○敷地内駐車場で転回 (案1-2): ○南~東に通抜可能	(案2-1): ○敷地内駐車場で転回 (案2-2): ○南~東に通抜可能	○敷地内のロータリーで転回	○敷地内の駐車場で転回	○敷地内の駐車場で転回
中学校 との 関係	○昇降口から既存中学校校舎は近い	○昇降口から既存中学校校舎は近い	△昇降口から既存中学校校舎は遠い	△昇降口から既存中学校校舎は遠い	○昇降口から既存中学校校舎は近い
工事中 の環境	○工事エリアが既存校舎から遠い ○工事期間が短い	○工事エリアが既存校舎から遠い ○工事期間が短い	○工事エリアが既存校舎から遠い ○工事期間が短い	○工事エリアが既存校舎から遠い ○工事期間が短い	△工事エリアが既存校舎に近い △工事期間が長い

### 3-3. 佐屋小学校準備委員会および教職員ヒアリング

#### (1) 佐屋小学校準備委員会

佐屋小学校の学校施設等に関すること、地域課題等に関することを中心に審議するため佐屋小学校準備委員会が設置され、学校施設に必要な機能等について検討されました。

<令和6年度の経緯>



<令和7年度の経緯>

↓

第4回佐屋小学校準備委員会 : 令和7年7月29日
・本年度の目標について
・検討部会での検討事項について

↓

佐屋小学校準備委員会に係る 第2回地域課題部会 : 令和7年度8月21日	佐屋小学校準備委員会に係る 第2回施設・通学路部会 : 令和7年度8月25日
--------------------------------------------	----------------------------------------------

↓

第5回佐屋小学校準備委員会 : 令和7年9月18日
・検討部会の報告
・佐屋小学校老朽化対策の手法について
・今後の検討について

↓ (以降が基本計画案について)

佐屋小学校準備委員会に係る 第3回地域課題部会 : 令和8年度1月15日	佐屋小学校準備委員会に係る 第3回施設・通学路部会 : 令和8年度1月13日
--------------------------------------------	----------------------------------------------

↓

第6回佐屋小学校準備委員会 : 令和8年3月(予定)
・検討部会の報告
・

<意見概要>

○第3回佐屋小学校準備委員会に係る施設・通学路部会

配置に関して、議論の結果以下のような方針にまとまりました。

- ・児童、教師の負担を考慮し4階以下とする。
- ・工事期間を優先し、1期で建設できる配置とする。
- ・サヤゴン、迷いの森は現位置での保存ではなく再整備とする。

部会内での主な意見

<配置について>

- ・校舎が南側に配置された場合、東側住宅への影響を配慮する必要がある。
- ・南側にグラウンドがある方が、環境が変わらず良いのではないか。
- ・工事期間が長くなると工事費が高くなるのではないか。

- ・ 5階建ては児童・教職員の移動の負担が大きい。
- ・ 迷いの森は落ち葉の掃除等の管理が大変な状況。今のものをそのまま残すことにはこだわらない。
- ・ サヤゴンは老朽化しており今のものをそのまま残すのは危険。
- ・ 新しいシンボルがあればいいのではないか。
- ・ 中学校との間に共用スペースを整備し、迷いの森の管理は協働してはどうか。
- ・ 小学生、中学生の登下校路と送迎車両の動線は分けたい。
- ・ 小中の駐車場をまとめられないか。
- ・ 敷地東側の道路を拡幅して歩道を整備した方がいいのではないか。
- ・ 北側の道路状空地は学校内の敷地として有効活用した方がよい。

#### <平面について>

- ・ 体育館と校舎が一体になっている場合は地域開放時の管理がしやすいように配慮する必要がある。
- ・ コンパクトな建物の方が管理しやすくて良い。
- ・ 多目的室を児童館的に使えるよう外部から直接入れるようにしたい。

### ○第3回佐屋小学校準備委員会に係る地域課題部会

配置に関して、議論の結果以下のような方針にまとまりました。

- ・ 児童、教師の負担と建設費用を考慮し4階程度とする。
- ・ 工事期間を優先し、1期で建設できる配置とする。
- ・ サヤゴン、迷いの森は現位置での保存ではなく再整備とする。
- ・ 職員駐車場を極力校舎付近に計画する。
- ・ 災害時の引き渡しのための車両通り抜け動線を設ける。

#### 部会内での主な意見

##### <配置について>

- ・ 職員駐車場が校舎に近い方がよい。保護者の駐車場とは分けたい。
- ・ 迷いの森、サヤゴンを撤去した方が機能的な配置が可能なら、撤去・移設した方がよい。
- ・ グラウンドは敷地南側に配置した方がよいのでは。
- ・ 案5は運動会時に観覧場所の確保が難しいのでは。
- ・ 児童の送迎しやすい位置に昇降口、車両の寄付きスペースがあった方がよい。
- ・ 災害時の引き渡しの際に渋滞が起らないように通り抜けられる動線が必要。
- ・ 保健室の引き渡しも考慮すべきである。
- ・ 工事費がなるべく安くなる計画の方がよい。

##### <平面について>

- ・ エレベーターは給食用と人荷用を分けて計画した方がよい。

- ・上階に特別教室をまとめた方が地域開放時に管理しやすいのでは。
  - ・体育館の下階に図書室を配置するのは良くない。
  - ・多目的室は地域開放で地域住民が使えた方が良い。
  - ・防音仕様の部屋を地域開放で使えると良い。
  - ・地域開放用の部屋を設けるより児童が使用する部屋の確保を優先した方が良い。
  - ・一時避難用に屋外階段を設置した方が良いのでは。
  - ・防災備蓄のスペースを確保した方が良い。
- <その他>
- ・耐震性を考慮した計画としてほしい。
  - ・グラウンドの排水対策を盛り込んでほしい。
  - ・太陽光発電パネル、蓄電池を設置しては。

## (2) 教職員ヒアリング

配置案をもとに教職員の方々にヒアリングを行いました。主な意見は以下のとおりです。

### ○配置計画・動線計画に関わる内容

- ・給食搬送車と保護者の送迎車両との動線は混在しないようにしてほしい。
- ・東側は道路が狭いので保護者の送迎車両は南出入りの方が良い。東側道路を使う場合は東を出口のみにするなど指定した方が良い。
- ・バスの出入りを南側道路からできるようにしてほしい。
- ・中学校との行き来は歩車分離がされるようにしてほしい。
- ・児童の敷地出入りは北・東・南の各箇所敷地に入れる方がよい。
- ・迷いの森の樹木やサヤゴンは老朽化しているため、そのままの残置は希望しない。
- ・職員駐車場が校舎から遠い。
- ・運動場は南側の方が良い。

### ○平面計画・断面計画に関わる内容

- ・職員室と来客玄関が離れる場合は防犯カメラ等で把握できるようにしてほしい。職員室からの視認性確保はグラウンドを優先してほしい。
- ・特別支援学級は職員室または保健室と近い方がよい。
- ・保健室は職員室との連絡を密にするため近傍が良い。または電話を設置してほしい。
- ・不登校対応等に活用できる部屋が1階にほしい。(外部から直接入る)
- ・アリーナ下階や隣接する部屋にアリーナの音の影響ができないように配慮してほしい。
- ・図書室は教室の近くが良い。
- ・図書室は低学年・高学年それぞれに憩いの場として活用できるようにしてほしい。部屋は1つにまとめてよい。
- ・2クラス合同で更衣をする場合を想定してほしい。

- ・ 職員トイレが職員室と同一階にほしい。
- ・ 学年トイレは教室の近くにほしい。
- ・ 特別支援学級の近くにトイレがほしい。
- ・ 職員室からグラウンドへ直接出られる階段がほしい
- ・ 避難所なので玄関が2階でも良いのではないか。
- ・ エレベータは給食専用としてほしい。
- ・ 屋内運動場は開放時の区画ができるのであれば校舎一体の方が良い。
- ・ 開放時は扉の施錠等の手間が少ないようにお願いしたい。

#### ○その他

- ・ 保健室の隣に部屋とシャワー室が必要。
- ・ 昇降口前に溜まれる庇下空間がほしい。
- ・ セキュリティ対策として更衣室は専用の部屋が良い。
- ・ ピロティは雨天時に助かる。
- ・ グラウンドにも Wi-Fi が届くようにしてほしい。

### 3-4. 基本計画案の配置方針

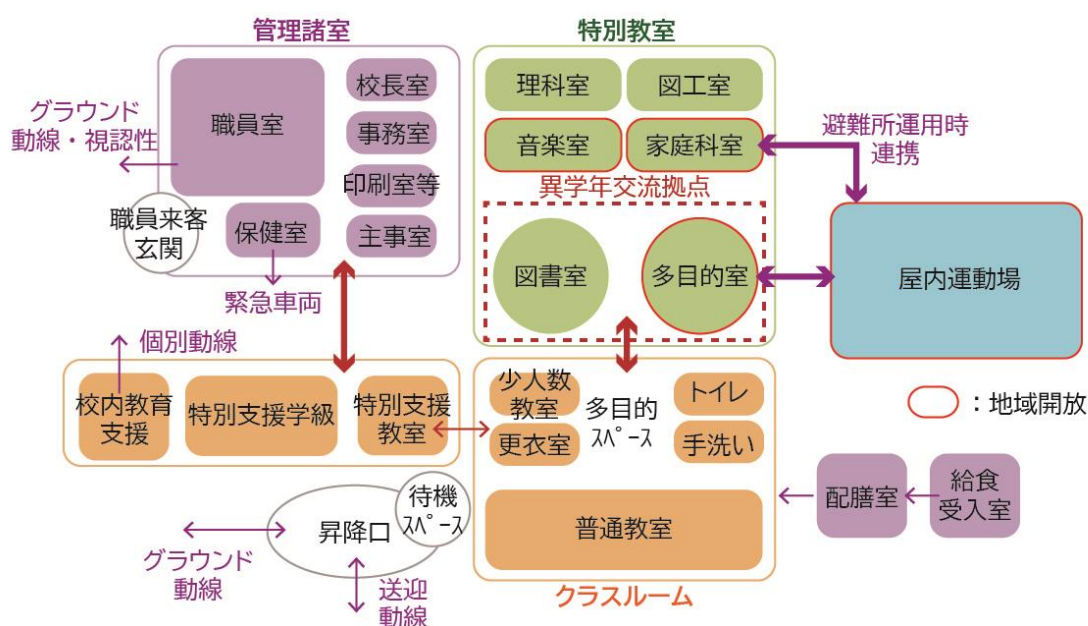
## 4. 基本計画案

### 4-1. 配置計画

## 4-2. 平面計画

### <平面・ゾーニングの考え方>

- ・ 普通教室は多目的スペースや少人数教室・更衣室、トイレ・手洗いなどとまとめて配置し、多様な学習環境と良好な生活環境を形成します。
- ・ 特別支援学級は落ち着いて学習できる環境を確保するとともに、将来の学級数の変動や一人一人のニーズに応じた教育ができるよう柔軟性のある計画とします。
- ・ 図書室は異学年の交流拠点として学校の中心的位置に配置します。
- ・ 同教科の特別教室は隣接して配置します。また、教科横断的な学習が可能ないように特別教室はまとまりのある配置とします。
- ・ 屋内運動場や地域開放する特別教室については避難所運用時の連携も考慮します。
- ・ 地域開放するエリアは明確に区分します。また、開放時の施設管理の手間が少なくなるよう配慮します。
- ・ 管理諸室は関連する諸室を隣接して配置し連携が取れるよう配慮します。また、職員室から校庭への視認性を確保します。
- ・ 保健室は緊急車両や保護者による送迎に配慮した配置とします。
- ・ 将来、中学校が改築した際に中学校新校舎と接続する可能性も考慮します。



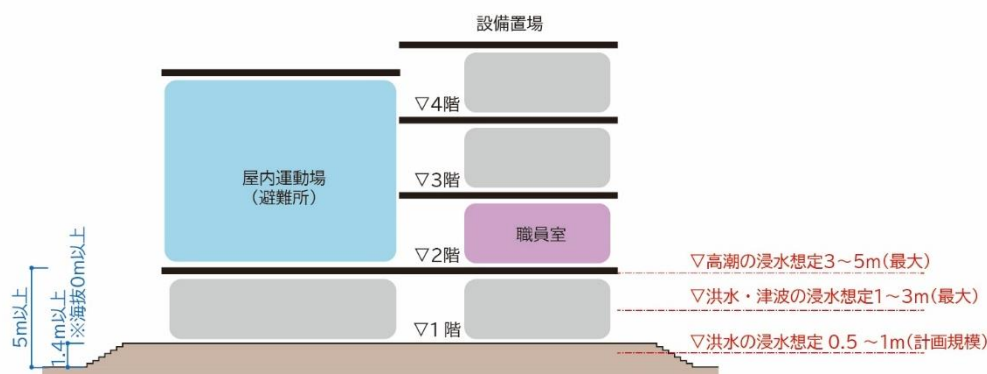
ゾーニングイメージ図



各階平面イメージ図

### 4-3. 断面計画

- ・ 1階床レベルは海拔0 mライン（地盤面から+1.4mを想定）とします。
- ・ 職員室、重要設備、避難所となる体育館は最大規模の浸水を考慮し2階以上（地盤面から+5.0m以上）に配置します。



断面イメージ図

### 4-4. 構造計画

- ・ 耐震安全性は、官庁施設の総合耐震・対津波計画基準（平成 25 年制定）に基づき、児童の安全性に配慮した計画とします。

部位	分類	耐震安全性の目標
構造体	Ⅱ類	大地震動後、構造体の大きな補修をすることなく建築物を使用できることを目標とし、人命の安全確保に加えて機能確保が図られるものとする。
建築非構造部材	A類	大地震動後、災害応急対策活動等を円滑に行ううえ、又は危険物の管理のうえで支障となる建築非構造部材の損傷、移動等が発生しないことを目標とし、人命の安全確保に加えて十分な機能確保が図られるものとする。
建築設備	乙類	大地震動後の人命の安全確保及び二次災害の防止が図られていることを目標とする。

- ・ 構造種別については機能性、安全性、経済性等を考慮し、設計時に適切な工法を選定します。
- ・ 将来の学級数の変動や間取りの変更に対応できる構造計画とします。
- ・ 近隣土質柱状図より、概ねグラウンドレベル-37m以深を支持層とする杭基礎の採用となることが想定されるため、詳細検討の際には、計画敷地内の地盤及び土質報告書から判断し、杭工法を比較検討します。

#### 4-5. 設備計画

- ・ 各室の利用用途に応じた適切な機能を整備するほか、省エネルギー性に配慮した計画とします。
- ・ 冷暖房設備を教室、管理諸室、屋内運動場などに整備します。
- ・ ICT教育の環境整備のため十分な電源配置やWi-Fi環境の整備を行います。
- ・ 設備機器の耐震性に配慮するとともに、更新性に配慮した機器配置とします。
- ・ 避難所運営のために必要な情報通信設備や電源・熱源の確保、災害用トイレ等を災害時でも確保できるよう計画します。

#### 4-6. 外構計画

##### ○グラウンド

- ・ グラウンドは150mトラック、50m直線、遊具スペースを設けます。トラック周囲は運動会の際の児童待機、保護者観覧のためのスペースを確保します。
- ・ 維持管理しやすい植栽選定を行い、緑豊かな環境を継承していける計画とします。
- ・ 敷地の外周部等に四季を感じることでできる樹木の植栽、花壇の設置等をし、周辺地域に対しても緑豊かな環境を提供します。
- ・ 熱中症対策としてグラウンド外周に適宜日影となる空間を設けます。
- ・ グラウンドの舗装選定防砂ネットの設置等、周囲への砂の飛散防止に配慮します。
- ・ 維持管理用の車両や緊急車両の進入が行えるよう車両用通用口を設けます。

##### ○駐車場、その他車両動線

- ・ 歩行者と車両の動線は舗装で明確に分離します。
- ・ 職員用駐車場と来客用駐車場を確保します。来客用駐車場は送迎時の周辺道路の混雑緩和に配慮します。
- ・ プール開放時は職員駐車場を開放利用者用の駐車場とします。

##### ○その他

- ・ 敷地と道路の境はフェンスを設置しセキュリティラインを明確にします。
- ・ 中学校敷地側は連携を考慮し、現状同様フェンス等は設けない計画とします。
- ・ 校舎から既存プールへの動線を確保します。

## 4-7. 各室計画

### 【クラスルーム】

#### ○普通教室・多目的スペース・クールダウンスペース

- ・ 新規格の机や大型モニター、充電保管庫の設置など ICT 教育に対応できる教室の広さとします。
- ・ 児童のランドセルや実習用の道具、体操着などの個々人の荷物が収納できる十分な収納スペースを確保します。
- ・ 普通教室と多目的スペースは連携して利用できる計画とし、多様な教育活動が展開できるように配慮します。
- ・ 教室と近接した場所に、気持ちを落ち着かせる場（クールダウンスペース）を設けます。
- ・ 教室から利用しやすい位置に学年ごとの手洗い場を設けます。
- ・ 遮音・吸音性の向上や掲示スペースの配置の工夫など、児童が集中できるように配慮した計画とします。

#### ○少人数教室、更衣室

- ・ 少人数指導や習熟度別指導のできる小部屋を各学年に設置します。
- ・ 更衣室を各学年に配置します。更衣室はセキュリティに配慮し更衣専用とします。
- ・ 2クラス合同での更衣の際は少人数教室も更衣室として利用できるよう、少人数教室に目隠し用のカーテンを設置します。

#### ○特別支援学級、特別支援教室

- ・ 様々な特性の児童に対応できるように、移動間仕切壁などでクラス数や部屋の広さを柔軟に変更できる計画とします。
- ・ 支援員の作業スペースを兼ねた小会議室を近傍に設置します。
- ・ 職員室や保健室との連絡、トイレ等との位置関係を考慮した配置とします。
- ・ 音やにおいなどの刺激に敏感な児童に配慮した教室配置や壁・扉の仕様とします。

#### ○校内教育支援センター

- ・ 教室に入ることが難しい児童の居場所となる部屋を設けます。
- ・ 職員室や保健室との連絡を考慮するとともに、極力他児童の目に触れずに登下校できるように配慮した配置とします。

### 【特別教室】

#### ○理科室、音楽室、図工室、家庭科室

- ・ 実習道具、実験道具、楽器など、授業で利用する道具を管理できるよう十分な収納棚

を設けます。

- ・ 実習内容に応じた換気量や水栓の確保、汚れにくく清掃しやすい仕上げの選定を行います。
- ・ 作品や教材の展示スペースを設け、児童の学習への興味を促します。
- ・ 理科室は教材の共有や準備作業の効率化を考慮し2室を近接して配置します。
- ・ 音楽室は音響及び防音に配慮した部屋とするとともに、楽器の搬出入に配慮した計画とします。
- ・ 家庭科室は調理、被服兼用とし、災害時の炊き出し利用も考慮した配置とします。

#### ○図書室

- ・ 日常的に異学年の交流ができる場となるように、各学年から利用しやすい配置及び居心地がよく魅力的な空間とします。
- ・ 年齢や活動内容の違いに応じた様々な読書・学習コーナーをつくります。

#### ○多目的室

- ・ 異学年や地域との交流の場として多目的に使える部屋とします。
- ・ 放課後や長期休暇時の開放利用（児童館的な役割）を想定した計画とします。

#### 【管理諸室】

##### ○校長室・応接室

- ・ 職員室や事務室との連絡が密に行える配置とします。
- ・ 校長室は応接室を兼ね、来客対応や打ち合わせができるスペースを確保します。

##### ○職員室、印刷室、給湯室

- ・ 職員室は浸水対策として2階に配置します。
- ・ 職員室はグラウンドが見渡せる位置に配置します。また職員室から死角となる出入口部分を監視できるモニターを設けます。
- ・ 印刷室や給湯室は職員室近傍に配置または職員室と一体で設置します。
- ・ 職員室からグラウンドに迅速に出られる計画とします。
- ・ 執務スペースに加え、簡易作業や打合せができる空間を設けます。

##### ○事務室、主事室

- ・ 職員室や校長室との連絡が密に行える計画とします。主事室は屋外との連携にも配慮します。
- ・ 近傍に書類や備品を管理する倉庫を設けます。

#### ○保健室

- ・ 救急搬送を考慮して1階に配置し、直接屋外に出入りできる計画とします。
- ・ 感染症にかかった児童を一時的に隔離できるスペースを保健室内に設けます。
- ・ 保健室内にシャワー室・洗濯スペースを設けます。
- ・ 職員室や外部へ電話連絡ができる計画とします。

#### ○放送室

- ・ 職員室から管理しやすい位置に配置します。
- ・ 防音、遮音性能に配慮した部屋とします。

#### ○会議室、小会議室、相談室

- ・ 会議室、相談室は職員室の近傍に配置します。
- ・ 小会議室は特別支援学級の近傍に配置します。

#### ○職員更衣・休憩室

- ・ 教職員全員分のロッカーが設置できる更衣室を男女それぞれに設けます。
- ・ 休憩室は教職員のリフレッシュ空間となるよう計画します。

#### ○資料室、倉庫、教材室、備蓄倉庫

- ・ 資料室は管理諸室の近傍に設けます。
- ・ 倉庫・教材室は各階に分散して設けます。
- ・ 備蓄倉庫は避難所となる屋内運動場近傍に設けます。

#### ○PTA室・地域連携室

- ・ PTA活動や学校運営に協力頂ける地域の方々の会議・作業スペースとして利用できる部屋を整備します。

#### 【給食関係】

#### ○給食受入室、配膳室

- ・ 配送される給食を保管する給食受入室を1室設けます。給食受入室は給食配送車が横付けできる場所に配置します。
- ・ 配膳室は2階以上のフロアに1室ずつ設けます。
- ・ 給食配送車の動線は保護者の送迎動線と混在しないよう配慮します。

## 【屋内運動場】

### ○アリーナ、器具庫

- ・ アリーナはメインミニバスケットボールコート1面（サブミニバスケットボールコート2面）を有する広さとし、運動に必要な備品を収納する器具庫を隣接して設けます。
- ・ 避難所利用を想定し、浸水対策として2階に配置します。
- ・ 全校児童の一斉移動を考慮した配置・動線計画とします。

### ○ステージ、放送室、控室

- ・ 講堂利用を想定し、舞台機構を備えたステージを設けます。
- ・ ステージに隣接して放送室、控室を設けます。放送室からはアリーナの様子が確認できる計画とします。

### ○その他付属諸室

- ・ 地域開放を想定し、屋内運動場の開放エリアのみで単独利用できる会議室や更衣室・トイレを設けます。
- ・ 避難所利用時や地域開放時に単独で利用できる玄関を設けます。

## 【共用部】

### ○昇降口、玄関

- ・ 児童用の昇降口はグラウンドへの移動がしやすい位置にまとめて配置します。また、昇降口前は児童が雨天時でも溜まれる広い庇下空間を設けます。
- ・ 昇降口、来客玄関の近傍に保護者の送迎を待つための待機スペースを設けます。
- ・ 来客用玄関、地域開放用玄関は来客用駐車場からアクセスしやすい位置に配置します。
- ・ 職員玄関は職員室とグラウンドへの動線に配慮して配置します。
- ・ 来客玄関には荷物の受入れスペースを設けます。

### ○トイレ

- ・ 児童用トイレは各教室から利用しやすい位置に配置します。
- ・ 車椅子使用者用トイレを各階に設けます。
- ・ 職員・来客用トイレは管理諸室の近傍に配置します。
- ・ 職員・来客用トイレにはオストメイト等を設置しただれでもトイレを併設します。

### ○廊下、階段

- ・ 安全性に配慮した広さ・仕上げ・配置とします。
- ・ 作品や学習成果物の展示スペースを設け、児童の学習への興味や異学年交流を促す計画とします。

- ・ 来客玄関または職員室の近傍の廊下にトロフィー・賞状や学校の歴史などを展示できるメモリアルスペースを設けます。
- ・ 屋上へ至る階段を適宜設置し、屋上の排水や設備機器などのメンテナンスが容易に行えるよう配慮します。

#### ○エレベータ

- ・ 移動に配慮が必要な児童生徒等が安全かつ円滑に学校生活を送れるようエレベータを設置します。
- ・ バリアフリー対応用のエレベータと給食搬入用のエレベータをそれぞれ設けます。

#### 【屋外付帯施設】

- ・ グラウンドから直接利用できる倉庫、トイレを設けます。
- ・ ゴミ出し動線、回収車の動線に配慮した位置にゴミ置き場を設けます。

### 4-8. 今後のスケジュール

#### ■事業スケジュール

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目
基本設計	実施設計	建設工事		解体工事	校庭整備工事

#### ■工事ステップ



## A 中学校（仮称）準備委員会について

## 1. 委員

氏名	職務	区分	備考
勝田 拓真	委員長	有識者	名古屋女子大学 講師
城 泰平	副委員長	学校評議員	立田中学校学校評議員
加藤 保	委員	自治会代表者	東保町総代
牛田 尚健	委員	自治会代表者	稲葉町総代
眞野 保	委員	自治会代表者	内佐屋町総代
伊藤 眞二	委員	自治会代表者	森川町総代
西村 憲一	委員	自治会代表者	戸倉町総代
横井 直	委員	学校評議員	佐屋中学校学校評議員
中村 博子	委員	学校評議員	佐屋中学校学校評議員
浅野 季子	委員	学校評議員	立田中学校学校評議員
佐藤 精一	委員	保護者代表	佐屋中学校 PTA
菱田 裕哉	委員	保護者代表	立田中学校 PTA
藤田 哲朗	委員	保護者代表	市江小学校 PTA
西水流 真央	委員	保護者代表	佐屋小学校 PTA
佐藤 英助	委員	保護者代表	佐屋西小学校 PTA
片岡 まゆか	委員	保護者代表	立田南部小学校 PTA
上野 和也	委員	保護者代表	立田北部小学校 PTA
林 紀子	委員	公募	佐屋中学校区
安田 里美	委員	公募	佐屋中学校区
上田 昌代	委員	公募	立田中学校区
上田 城弘	委員	公募	立田中学校区
吉次 章浩	委員	学校関係者	佐屋中学校長
服部 洋子	委員	学校関係者	立田中学校長

## 2. 令和7年度の実績

日付	会議名	内容
令和7年 8月8日	第3回準備委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年度目標</li> <li>・スケジュールの確認</li> <li>・今後の検討事項の決定 (別紙参照)</li> </ul>

令和7年 11月5日	第2回施設・通学路部会	・通学、佐屋中学校・立田中学校の交通安全指導について
令和7年 11月17日	第2回地域課題部会	・学校と地域の連携、PTA、コミュニティスクールについて検討
令和7年 11月18日	第2回教育・学校運営部会	・校名、校歌、校章について検討
令和8年 3月(予定)	第4回準備委員会	・検討部会での意見集約 ・報告書の作成 (予定)

## A中学校(仮称)準備委員会 検討事項

別紙

番号	担当部会	分野	検討事項	開校年 X-4	開校年 X-3	開校年 X-2	開校年 X-1	開校年 X	スケジュール及び補足
1	教育・学校運営	学校運営	学校の先生の数	○	○	○	○	○	別紙②参照
2	教育・学校運営	学校運営	制服の統一		○	○	○		デザインの決定方法、応募、選定方法について検討を開始する。
3	教育・学校運営	学校運営	学校祭の統一感				○	○	別紙②参照
4	教育・学校運営	学校運営	年間行事計画		○	○	○	○	統合前の学校の行事と統合後の行事を比較検討し、重複や欠落がないように調整します。
5	教育・学校運営	学校運営	学校運営機構				○	○	2校のうち、基とする学校運営機構を決定する。
6	教育・学校運営	学校運営	日課表、時間割、勤務時間			○	○	○	情報交換を含め検討を開始し、開校前年度内に素案を作成する。
7	教育・学校運営	学校運営	学校ごとの規律、方針の差の穴埋め		○	○	○	○	市内生徒指導部会において情報交換を行っている。情報交換を含め検討を開始し、開校前々年度内に方向を決定し、職員・生徒・保護者へ周知する。必要に応じて修正を加える。
8	教育・学校運営	学校運営	校則のすり合わせ、周知		○	○	○	○	同上
9	教育・学校運営	学校運営	生徒手帳の統一		○	○	○	○	情報交換を含め検討を開始し、開校前々年度内に素案を作成する。
10	教育・学校運営	学校運営	宿泊行事の場所おさえ			○	○	○	情報交換を含め検討を開始し、開校前年度内に素案を作成する。
11	教育・学校運営	学校運営	特別支援学級の在り方	○	○	○	○	○	別紙②参照
12	教育・学校運営	学校運営	特別支援学級生徒の交流			○	○	○	市内小中学校で適宜、情報交換を行っている。検討を開始し、開校前年度内に交流活動を実施する。
13	教育・学校運営	学校運営	校歌の検討		○	○	○		校歌の決定方法、応募・公募方法について検討を開始する。
14	教育・学校運営	学校運営	部活動の検討			○	○	○	部活動の地域展開を進めながら検討していく。
15	教育・学校運営	学校運営	体操服の検討 (デザインやマーク、費用など)		○	○	○		情報交換を含め検討を開始し、素案を作成する。
16	教育・学校運営	学校運営	教職員、部活動顧問の確保			○	○	○	同14 部活動の検討 参照
17	教育・学校運営	学校運営	校訓			○	○		素案を作成し、検討を重ねた後、開校前年度内に決定する。
18	教育・学校運営	学校運営	小中連携	○	○	○	○	○	現在において継続して実施している。
19	教育・学校運営	学校運営	職員会議等の議題				○	○	情報交換を含め検討を開始し、交流活動を含め実施する。
20	教育・学校運営	学校運営	現職教育 研究テーマ				○	○	情報交換を含め検討を開始し、交流活動を含め実施する。
21	教育・学校運営	学校運営	教科部会(学習内容)				○	○	情報交換を含め検討を開始し、交流活動を含め実施する。

番号	担当部会	分野	検討事項	開校年 X-4	開校年 X-3	開校年 X-2	開校年 X-1	開校年 X	スケジュール及び補足
22	教育・学校運営	学校運営	現任校での学習内容の引継ぎ				○	○	情報交換を含め検討を開始し、交流活動を含め実施する。
23	教育・学校運営	学校運営	総合的な学習の統合校でのテーマ				○	○	同6 日課表、時間割、勤務時間 参照
24	教育・学校運営	学校運営	総合的な学習の統合校での課程				○	○	同6 日課表、時間割、勤務時間 参照
25	教育・学校運営	学校運営	総合学習の名称				○	○	同6 日課表、時間割、勤務時間 参照
26	教育・学校運営	学校運営	儀式的行事		○	○	○	○	同4 年間行事計画 参照
27	教育・学校運営	学校運営	集団宿泊的行事			○	○	○	同10 宿泊行事の場所おさえ 参照
28	教育・学校運営	学校運営	勤労生産奉仕的行事		○	○	○	○	同4 年間行事計画 参照
29	教育・学校運営	学校運営	学級編成				○	○	教員・生徒間の交流と合わせて両校同士の調整が必要
30	教育・学校運営	学校運営	道徳の別葉				○	○	同21 教科部会(学習内容) 参照
31	教育・学校運営	学校運営	学級活動				○	○	情報交換を含め検討を開始し、交流活動を含め実施する。
32	教育・学校運営	学校運営	委員会活動				○	○	情報交換を含め検討を開始し、交流活動を含め実施する。
33	教育・学校運営	学校運営	学校保健安全計画			○	○	○	情報交換を含め、検討を開始し、開校前年度内に2校のうち、基とする課程の決定する。(施策2 A中学校 準備委員会p44参照)
34	教育・学校運営	学校運営	給食指導計画			○	○	○	同33 学校保健安全計画 参照
35	教育・学校運営	学校運営	清掃指導計画			○	○	○	同33 学校保健安全計画 参照
36	教育・学校運営	学校運営	学校への持ち物	○	○	○	○	○	通学用カバン、上靴、体育館シューズ、名札等、学校への持ち物について統合前2校の情報交換を行い、選定にあたっては児童生徒、保護者に意見を求める。
37	教育・学校運営	学校運営	校名	○	○	○			校名の選定方法について検討を開始し、開校三年前に応募を開始する。
38	教育・学校運営	学校運営	校章・校歌・校旗	○	○	○	○		決定方法の検討及び予算要望を含め作成を依頼する。
39	教育・学校運営	学校運営	公印・職印		○	○	○		検討及び予算要望を含め作成を依頼する。
40	教育・学校運営	学校運営	教員用図書				○	○	2校間の調整を行い、以降必要に応じて予算要望する。
41	教育・学校運営	閉校へ	閉校式		○	○	○	○	情報交換を含め、検討を開始する。
42	教育・学校運営	閉校へ	記念誌		○	○	○	○	情報交換を含め、検討を開始する。
43	教育・学校運営	閉校へ	閉校記念品		○	○	○	○	情報交換を含め、検討を開始する。
44	教育・学校運営	閉校へ	学校お別れの会		○	○	○	○	情報交換を含め、検討を開始する。
45	教育・学校運営	開校へ	入学始業式				○	○	情報交換を含め、検討を開始する。

番号	担当部会	分野	検討事項	開校年 X-4	開校年 X-3	開校年 X-2	開校年 X-1	開校年 X	スケジュール及び補足
46	教育・学校運営	開校八	開校式			○	○	○	情報交換を含め、検討を開始する。
47	教育・学校運営	教育	副教材の統一			○	○	○	同50 学習内容 参照
48	教育・学校運営	教育	進路指導、学力補充			○	○	○	同50 学習内容 参照
49	教育・学校運営	教育	学校教育方針		○	○			素案を作成し、検討を重ねた後、開校前々年度内に決定する。
50	教育・学校運営	教育	学習内容			○	○	○	別紙② 教育について 参照
51	教育・学校運営	教育	評価基準			○	○	○	別紙② 教育について 参照
52	教育・学校運営	教育	テスト問題統一			○	○	○	別紙② 教育について 参照
53	教育・学校運営	教育	通知表の様式、所見の統一			○	○	○	現在、市内での統一がなされている。
54	教育・学校運営	教育	キャリア学習			○	○	○	情報交換を含め、検討を開始する。
55	教育・学校運営	生徒会	生徒会規約の新設		○	○	○	○	各校の生徒会活動の交流に加え、こども主体で決定し、適宜状況の確認と意見の聞き取りをする。
56	教育・学校運営	生徒会	生徒会行事精選		○	○	○	○	同55 生徒会規約の新設 参照
57	教育・学校運営	生徒会	開校当初の役員人選			○	○	○	開校2年前から両校での生徒会役員の交流活動と合わせて統合後の役員選挙の時期を検討する。
58	教育・学校運営	PTA	組織づくり	○	○	○	○	○	同168 PTA組織作り 参照 但し、PTA組織や役員数の調整に時間が必要
59	教育・学校運営	PTA	組織規約等	○	○	○	○	○	同168 PTA組織作り 参照
60	教育・学校運営	PTA	各種行事	○	○	○	○	○	同168 PTA組織作り 参照
61	教育・学校運営	保護者	懇談会・家庭訪問の持ち方		○	○	○	○	同4 年間行事計画 参照
62	教育・学校運営	保護者	来校時駐車場				○	○	行事時の文化会館駐車場、スポーツセンター(晴天時)の借用を今後依頼する。(施策2 A中学校 検討事項参照)
63	教育・学校運営	部活動	部活動の運営			○	○	○	同14 部活動の検討 参照
64	教育・学校運営	部活動	部活動 (種目、数、行い方など)			○	○	○	同14 部活動の検討 参照
65	教育・学校運営	部活動	合併途中の部活動			○	○	○	同14 部活動の検討 参照
66	教育・学校運営	部活動	備品の整備・調整			○	○	○	同14 部活動の検討 参照
67	教育・学校運営	部活動	ユニフォーム			○	○	○	開校2年前から両校での交流活動と併せて検討する。
68	教育・学校運営	部活動	地域人材の確保	○	○	○	○	○	引き続き部活動指導員の確保に努めていく。
69	教育・学校運営	部活動	クラブハウスの整備	○	○	○	○	○	部活動地域展開と併せて検討する。
70	教育・学校運営	事前交流	子どもたちとの座談会	○	○	○	○	○	各部会で検討した内容を精選したうえで、子どもたちにも意見を聴く機会を設ける。

番号	担当部会	分野	検討事項	開校年 X-4	開校年 X-3	開校年 X-2	開校年 X-1	開校年 X	スケジュール及び補足
71	教育・学校運営	事前交流	生徒交流活動		○	○	○	○	統合を円滑に進めるために、統合時の生徒間の交流が必要。特に統合前2年間については、可能な限り積極的に交流事業に取り組む。
72	教育・学校運営	事前交流	合併前の交流(教員)			○	○	○	合同研修などでの人事交流ができると良い。生徒指導の在り方や、教育方針等、教員間にある様々な感覚の違いを是正するため、話し合いが必要。
73	教育・学校運営	事前交流	職員会議交流				○	○	別紙② 事前交流について 参照
74	教育・学校運営	教職員	市職員配置				○	○	開校1年前から教員配置と併せて検討する。
75	教育・学校運営	教育・学校施設・地域	防犯強化 (地域、家庭、学校)	○	○	○	○	○	別紙④ 防犯について 参照
76	教育・学校運営	事務関係	書類の整理保管、移動、廃棄		○	○	○	○	学校の統合に伴う書類の整理、保管、移動、廃棄を含め検討を開始する。
77	教育・学校運営	事務関係	振替金額の年間計画		○	○	○	○	同78 振替口座作成依頼 参照
78	教育・学校運営	事務関係	振替口座作成依頼		○	○	○	○	情報交換を含め検討、準備、実施する。 立田・八開地区はJA引落、佐屋地区はゆうちょ引落統一する必要あり(引落日、手数料が異なる) 統合校は、各校の予算事務・徴収方法を踏まえながら、市内共同実施等で事務職員に指導を仰ぎ、旅行積立金額、学校徴収金(学習に関する)金額、徴収方法、金融機関等を決定していく必要がある。
79	教育・学校運営	事務関係	開校前年度末の積立残金の統一		○	○	○	○	同78 振替口座作成依頼 参照
80	教育・学校運営	事務関係	各種会計簿の残金確認		○	○	○	○	同78 振替口座作成依頼 参照
81	教育・学校運営	その他	途中学年のメンタルケア	○	○	○	○	○	別紙② その他 参照
82	教育・学校運営	その他	危機管理マニュアル				○	○	佐屋中を基に作成し修正を加える。
83	教育・学校運営	その他	避難訓練の計画			○	○	○	開校2年前より情報交換を含め検討し、開校前年度に素案を作成する。
84	教育・学校運営	その他	災害時対応通知	○	○	○	○	○	すぐ一にて通知を行う
85	教育・学校運営	その他	防災時の手引等				○	○	佐屋中の危機管理マニュアルを基に作成し修正を加える。
86	教育・学校運営	その他	AI教材を使用するか	○	○				情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
87	教育・学校運営	その他	統合する学校どうしの事前交流		○	○	○	○	別紙② 事前交流について 参照
88	教育・学校運営	その他	同窓会組織の立ち上げ			○	○	○	情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
89	教育・学校運営	その他	開校年度に関する各種調査への回答				○	○	開校前に回答できる各種調査(例:進路状況調査)は前年度分を翌年度に調査・報告する。
90	教育・学校運営	その他	住所、メルアド、HP開設				○	○	学校名が決定したうえで、メルアド、HP開設を行う。
91	施設・通学路	学校施設	教育のインフラ(設備)	○	○				情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。

番号	担当部会	分野	検討事項	開校年 X-4	開校年 X-3	開校年 X-2	開校年 X-1	開校年 X	スケジュール及び補足
92	施設・通学路	学校施設	図書室の在り方	○	○				情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
93	施設・通学路	学校施設	学校のセキュリティ	○	○				情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
94	施設・通学路	学校施設	相談室	○	○				情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
95	施設・通学路	学校施設	何階建てか	○	○				情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
96	施設・通学路	学校施設	教室配置 (特別教室の数の検討も含む)	○	○				情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
97	施設・通学路	学校施設	更衣室の設置検討	○	○				情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
98	施設・通学路	学校施設	エレベーター設置の検討	○	○				情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
99	施設・通学路	学校施設	Wi-Fi環境の整備	○	○				情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
100	施設・通学路	学校施設	照明LED化	○	○				情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
101	施設・通学路	学校施設	洋式トイレ	○	○				情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
102	施設・通学路	学校施設	多目的トイレ	○	○				情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
103	施設・通学路	学校施設	プールを作るか	○	○				情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
104	施設・通学路	学校施設	文化系部活動 部屋割り振り			○	○	○	同14 部活動の検討 参照
105	施設・通学路	学校施設	図書室蔵書の調整備品の調整 (購入・廃棄)		○	○	○	○	2校間の整備・調整の検討を開始する。
106	施設・通学路	学校施設	液状化対策	○	○				情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
107	施設・通学路	学校施設	津波の避難	○	○				情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
108	施設・通学路	学校施設	街灯防犯	○	○				情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
109	施設・通学路	学校施設	ウォータークーラーの設置	○	○				情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
110	施設・通学路	学校施設	学校の老朽化対策	○	○				情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
111	施設・通学路	学校施設	児童、生徒が 行きやすい環境の検討	○	○	○	○	○	別紙④ その他 参照
112	施設・通学路	学校施設	エアコン移動設置	○	○				情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
113	施設・通学路	学校施設	職員室座席	○	○				情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
114	施設・通学路	学校施設	生徒職員下駄箱	○	○				情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
115	施設・通学路	学校施設	駐車場	○	○				情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
116	施設・通学路	プール関連	運用調整(小との関連)	○	○	○	○	○	情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。



番号	担当部会	分野	検討事項	開校年 X-4	開校年 X-3	開校年 X-2	開校年 X-1	開校年 X	スケジュール及び補足
117	施設・通学路	プール関連	補修整備	○	○	○	○	○	情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
118	施設・通学路	跡地利用	現校舎、校地の跡地利用の検討			○	○	○	別紙④ 跡地利用について 参照
119	施設・通学路	跡地利用	地域に活かす跡地利用			○	○	○	別紙④ 跡地利用について 参照
120	施設・通学路	教科・管理備品	備品台帳の整備・調整		○	○	○	○	2校間の整備・調整の検討を開始する。
121	施設・通学路	教科・管理備品	必要備品の調整		○	○	○	○	2校間の調整を行い、以降必要に応じて予算要望する。
122	施設・通学路	教科・管理備品	不足分の備品搬入				○	○	2校間の調整を行い、以降必要に応じて予算要望する。
123	施設・通学路	教科・管理備品	廃校後の校内整理					○	2校間の整備・調整の検討を開始する。
124	施設・通学路	教科・管理備品	歴史的資料・書籍		○	○	○	○	歴史的資料・書籍の検討・調査を開始し、開校前に移設を行う。
125	施設・通学路	教科・管理備品	統合校への備品搬入				○	○	2校間の調整を行い、以降必要に応じて予算要望する。
126	施設・通学路	コンピュータ備品	サーバー管理				○	○	情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
127	施設・通学路	コンピュータ備品	校務支援システム移行				○	○	情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
128	施設・通学路	コンピュータ備品	職員コンピュータの調整と移動				○	○	情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
129	施設・通学路	コンピュータ備品	タブレット搬入				○	○	情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
130	施設・通学路	コンピュータ備品	タブレット運用準備				○	○	情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
131	施設・通学路	コンピュータ備品	ICT備品確認・調整			○	○	○	情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
132	施設・通学路	コンピュータ備品	大型モニター・電子黒板調整と移動				○	○	情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
133	施設・通学路	コンピュータ備品	コンピューター運用	○	○				情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
134	施設・通学路	通学	スクールバスの検討	○	○	○	○	○	情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
135	施設・通学路	通学	徒歩、自転車、バスの線引き	○	○	○	○	○	情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
136	施設・通学路	通学	バス通学になった場合の集合場所	○	○	○	○	○	情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
137	施設・通学路	通学	自転車通学規約	○	○	○			情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
138	施設・通学路	通学	駐輪場の検討	○	○				情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
139	施設・通学路	通学	通学路の指定	○	○	○			情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
140	施設・通学路	通学	車の交通量等による危険場所の認知	○	○	○			情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
141	施設・通学路	通学	通学時の交通指導員、見守りボランティア			○	○	○	別紙③ 通学について 参照



番号	担当部会	分野	検討事項	開校年 X-4	開校年 X-3	開校年 X-2	開校年 X-1	開校年 X	スケジュール及び補足
142	施設・通学路	通学	送り迎えのルール (場所、時間)			○	○	○	別紙③ 通学について 参照
143	施設・通学路	通学	保護者送迎のための動線 (ロータリーの設置)	○	○	○			情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
144	施設・通学路	通学	GPS(スマホ)	○	○	○			情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
145	施設・通学路	通学	通学体験	○	○	○	○		別紙③ 通学について 参照
146	施設・通学路	通学	自転車通学 (自転車置き場の確保)		○	○	○		情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
147	施設・通学路	通学	生徒の通学手段	○	○	○	○		情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
148	施設・通学路	通学	バス通学の場合、 バス停までの交通手段	○	○	○			情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
149	施設・通学路	通学	自転車置き場の検討	○	○				情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
150	施設・通学路	通学	通学、特に下校時の 突然の出来事に対する 対処方法		○	○	○		別紙④ 防災について 参照
151	施設・通学路	通学	通学に係る費用	○	○				情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
152	地域課題	地域	地域内での活動、行事		○	○	○	○	同4 年間行事計画 を踏まえて検討する。
153	地域課題	地域	学校行事と地域行事の連携		○	○	○	○	・両校の特徴を生かしたものにすべき ・居住区域や学校ごとで継承されてきた行事をどのように計画、実施すべきかの検討 ・行事時の文化会館駐車場の借用を今後依頼する(学校規模適正化課題検討委員会での検討事項より)
154	地域課題	地域	行事等への 地域住民の参加		○	○	○	○	学校行事に地域住民が参加することは、学校と地域が連携・協働し、地域全体で子どもの学びや成長を支えるという観点から、非常に有益。学校行事を通じて、地域住民が学校に関わることで、地域住民の学校に対する意識向上、安全・安心なまちづくりへの意識向上、地域コミュニティ形成へと繋がる。
155	地域課題	地域	学校と地域の 連携方法			○	○	○	別紙④ 地域と学校の繋がりについて 参照
156	地域課題	地域	地域の人との交流		○	○	○	○	同4 年間行事計画 を踏まえて検討する。
157	地域課題	地域	地域の特徴を生かした 体験活動、出前授業				○	○	同4 年間行事計画 を踏まえて検討する。
158	地域課題	地域	子供たちの意見発表の場	○	○	○	○	○	別紙② 事前交流について 参照
159	地域課題	地域	地域学習における 人材の確保	○	○	○	○	○	別紙② 事前交流について 参照し、検討する。
160	地域課題	地域	地域の繋がり の希薄化への対応			○	○	○	別紙④ 地域と学校の繋がりについて 参照
161	地域課題	地域	地区まちづくり			○	○	○	別紙④ 地域と学校の繋がりについて 参照

番号	担当部会	分野	検討事項	開校年 X-4	開校年 X-3	開校年 X-2	開校年 X-1	開校年 X	スケジュール及び補足
162	地域課題	地域	地域学習、行事、お祭り		○	○	○	○	同4 年間行事計画 を踏まえて検討する。
163	地域課題	地域	タイムカプセルの掘り出し	○	○				別紙④ 地域と学校の繋がりについて 参照
164	地域課題	地域	学校評議員	○	○	○	○	○	情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
165	地域課題	地域	コミュニティスクール	○	○	○	○	○	情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
166	地域課題	学校運営 ・地域	PTA組織作り	○	○	○	○	○	2校間の情報共有し、素案を作成する。開校前までにPTA総会及び役員会等で方針、原案作成及びその承認を行う。
167	地域課題	学校運営 ・地域	PTA活動について	○	○	○	○	○	同166 PTA組織作り 参照
168	地域課題	学校運営 ・地域	PTA活動の広がり、深まり	○	○	○	○	○	同166 PTA組織作り 参照
169	地域課題	学校運営 ・地域	PTA活動の在り方	○	○	○	○	○	同166 PTA組織作り 参照
170	地域課題	防災	防災機能の強化	○	○				別紙④ 防災について 参照
171	地域課題	防災	災害に強い学校とは (トイレも含む)	○	○				別紙④ 防災について 参照
172	地域課題	防災	防災の観点から、 地域が安心して利用できる学校	○	○				別紙④ 防災について 参照
173	地域課題	防災	災害時の対応			○	○	○	別紙④ 防災について 参照
174	地域課題	防災	地域とともに行う避難訓練			○	○	○	同4 年間行事計画 を踏まえて検討する。
175	地域課題	防災	充実したコミュニティ との繋がり			○	○	○	別紙④ 防災について 参照
176	地域課題	その他	地域、地域外への 学校の魅力発信	○	○	○	○	○	・学校のウェブサイトなどで、生徒の作品やイベント情報を発信し、引き続き地域外の人にも学校の魅力を伝えていく。
177	地域課題	その他	瀬戸の教育理念のように 愛西市も同じ思いで 出来るのか。	○	○	○	○	○	別紙④ その他 参照

## B 中学校（仮称）準備委員会について

## 1. 委員

氏名	職務	区分	備考
勝田 拓真	委員長	有識者	名古屋女子大学 講師
渡邊 徳仁	副委員長	保護者代表	佐織西中学校 PTA
三輪 好一	委員	自治会代表者	西川端町総代
横井 研二	委員	自治会代表者	草平町総代
神谷 篤治	委員	自治会代表者	給父町総代
阿南 善洋	委員	自治会代表者	川北町総代
吉川 立洋	委員	学校評議員	八開中学校学校評議員
細野 淳子	委員	学校評議員	八開中学校学校評議員
伊藤 正宣	委員	学校評議員	佐織西中学校学校評議員
渡邊 芳裕	委員	学校評議員	佐織西中学校学校評議員
横井 祥晃	委員	保護者代表	八開中学校 PTA
伊藤 滋矩	委員	保護者代表	八輪小学校 PTA
野崎 勇志	委員	保護者代表	開治小学校 PTA
渡邊 幸愛	委員	保護者代表	草平小学校 PTA
深堀 ゆかり	委員	保護者代表	西川端小学校 PTA
村上 尚美	委員	公募	八開中学校区
鈴木 幸子	委員	公募	八開中学校区
飯野 大輔	委員	公募	佐織西中学校区
伊藤 敦	委員	公募	佐織西中学校区
市川 昇	委員	学校関係者	八開中学校長
中山 政彦	委員	学校関係者	佐織西中学校長

## 2. 令和 7 年度の実績

日付	会議名	内容
令和 7 年 8 月 22 日	第 3 回準備委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和 7 年度目標</li> <li>・ スケジュールの確認</li> <li>・ 今後の検討事項の決定 (別紙参照)</li> </ul>

令和7年 11月7日	第2回教育・学校運営部会	・校名、校歌、校章について検討
令和7年 11月11日	第2回施設・通学路部会	・通学、八開中学校・佐織西中学校の交通安全指導について
令和7年 11月25日	第2回地域課題部会	・学校と地域の連携、PTA、コミュニティスクールについて検討
令和8年 3月(予定)	第4回準備委員会	・検討部会での意見集約 ・報告書の作成 (予定)

## B中学校(仮称)準備委員会 検討事項

別紙

番号	担当部会	分野	検討事項	開校年 X-4	開校年 X-3	開校年 X-2	開校年 X-1	開校年 X	スケジュール及び補足
1	教育・学校運営	学校運営	日課表、時間割、勤務時間			○	○	○	情報交換を含め検討を開始し、開校前年度内に素案を作成する。
2	教育・学校運営	学校運営	年間行事計画		○	○	○	○	統合前の学校の行事と統合後の行事を比較検討し、重複や欠落がないように調整します。
3	教育・学校運営	学校運営	両校の文化の理解(行事)		○	○	○	○	生徒間・教員間交流を行い、統合前の学校の行事と統合後の行事を比較検討し、重複や欠落がないように調整する。
4	教育・学校運営	学校運営	学校ごとの規律、方針の差の穴埋め		○	○	○	○	市内生徒指導部会において情報交換を行っている。情報交換を含め検討を開始し、開校前々年度内に方向を決定し、職員・生徒・保護者へ周知する。必要に応じて修正を加える。
5	教育・学校運営	学校運営	校訓			○	○		素案を作成し、検討を重ねた後、開校前年度内に決定する。
6	教育・学校運営	学校運営	職員会議等の議題				○	○	情報交換を含め検討を開始し、交流活動を含め実施する。
7	教育・学校運営	学校運営	学校運営機構				○	○	2校のうち、基とする学校運営機構を決定する。
8	教育・学校運営	学校運営	通知表の様式、所見の統一			○	○	○	現在、市内での統一がなされている。統一様式を採用する。
9	教育・学校運営	学校運営	教科部会(学習内容)				○	○	情報交換を含め検討を開始し、交流活動を含め実施する。
10	教育・学校運営	学校運営	総合学習の名称				○	○	情報交換を含め検討を開始し、交流活動を含め実施する。
11	教育・学校運営	学校運営	学級編成				○	○	教員・生徒間の交流と合わせて両校同士の調整が必要
12	教育・学校運営	学校運営	特別支援学級対応	○	○	○	○	○	生徒の特性や発達段階を的確に把握し、個別のニーズに合わせた適切な指導を行う。
13	教育・学校運営	学校運営	学級活動				○	○	情報交換を含め検討を開始し、交流活動を含め実施する。
14	教育・学校運営	学校運営	委員会活動				○	○	情報交換を含め検討を開始し、交流活動を含め実施する。
15	教育・学校運営	学校運営	学校保健安全計画			○	○	○	情報交換を含め、検討を開始し、開校1年前までに2校のうち、基とする計画を決定する。
16	教育・学校運営	学校運営	給食指導計画			○	○	○	情報交換を含め、検討を開始し、開校1年前までに2校のうち、基とする計画を決定する。
17	教育・学校運営	学校運営	清掃指導計画			○	○	○	情報交換を含め、検討を開始し、開校1年前までに2校のうち、基とする計画を決定する。
18	教育・学校運営	学校運営	生徒手帳		○	○	○	○	情報交換を含め検討を開始し、開校2年前までに素案を作成する。
19	教育・学校運営	学校運営	制服		○	○	○		デザインの決定方法、応募、選定方法について検討を開始する。
20	教育・学校運営	学校運営	体操服、ジャージ所持品等		○	○	○		情報交換を含め検討を開始し、開校2年前までに素案を作成する。
21	教育・学校運営	学校運営	名札		○	○	○	○	情報交換を含め検討を開始し、開校2年前までに素案を作成する。
22	教育・学校運営	学校運営	校名	○	○	○			校名の選定方法について検討を開始し、開校3年前までに応募を開始する。
23	教育・学校運営	学校運営	校章・校歌・校旗	○	○	○	○		決定方法の検討及び予算要望を含め作成を依頼する。

番号	担当部会	分野	検討事項	開校年 X-4	開校年 X-3	開校年 X-2	開校年 X-1	開校年 X	スケジュール及び補足
24	教育・学校運営	学校運営	公印・職印		○	○	○		検討及び予算要望を含め作成を依頼する。
25	教育・学校運営	閉校ハ	閉校式		○	○	○	○	情報交換を含め、検討を開始する。
26	教育・学校運営	閉校ハ	記念誌		○	○	○	○	情報交換を含め、検討を開始する。
27	教育・学校運営	閉校ハ	閉校記念品		○	○	○	○	情報交換を含め、検討を開始する。
28	教育・学校運営	閉校ハ	学校お別れの会		○	○	○	○	情報交換を含め、検討を開始する。
29	教育・学校運営	開校ハ	入学始業式				○	○	情報交換を含め、検討を開始する。
30	教育・学校運営	開校ハ	開校式			○	○	○	情報交換を含め、検討を開始する。
31	教育・学校運営	教育	学習内容			○	○	○	情報交換を含め、検討を開始する。
32	教育・学校運営	教育	副教材の統一			○	○	○	両校で情報交換を含め、副教材の選定や授業スタイル、年間指導計画の調整を行う。
33	教育・学校運営	教育	評価基準		○	○	○	○	事前の両校の教員間ですり合わせを行い、共通理解を図っていく。
34	教育・学校運営	教育	定期テストの科目、 期間等の形態統一			○	○	○	事前の両校の教員間ですり合わせを行い、共通理解を図っていく。
35	教育・学校運営	教育	学校教育目標(学習面)				○	○	素案を作成し、検討を重ねた後、開校前年度内に決定する。
36	教育・学校運営	教育	進路指導計画	○	○	○	○	○	情報交換を含め、検討を開始する。
37	教育・学校運営	教育	教室に行けない 生徒への対応	○	○	○	○	○	生徒の状況を理解し、関係機関とも連携し、安心できる環境を整える。
38	教育・学校運営	教育	学力補充				○	○	情報交換を含め、検討を開始する。
39	教育・学校運営	給食	給食の見直し			○	○	○	情報交換を含め、検討を開始する。
40	教育・学校運営	給食	給食時間の進め方			○	○	○	情報交換を含め、検討を開始する。
41	教育・学校運営	生徒会	生徒会の在り方 (規約、選挙、議会)		○	○	○	○	各校の生徒会活動の交流に加え、こども主体で決定し、適宜状況の確認と生徒の意見を聞き取りする。
42	教育・学校運営	生徒会	生徒会行事精選		○	○	○	○	開校3年前から両校での交流活動と合わせて情報交換を含め、検討を開始する。
43	教育・学校運営	生徒会	開校当初の役員人選			○	○	○	開校2年前から両校での生徒会役員の交流活動と併せて統合後の役員選挙の時期を検討する。
44	教育・学校運営	保護者	懇談会・家庭訪問 の持ち方		○	○	○	○	情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
45	教育・学校運営	部活動	部活 (種類、実施日、地域移行)	○	○	○	○	○	部活動の地域展開を進めながら検討していく。
46	教育・学校運営	部活動	部活動(地域人材の確保)			○	○	○	部活動の地域展開を進めながら検討していく。
47	教育・学校運営	部活動	スポーツの見直し			○	○	○	部活動の地域展開を進めながら検討していく。

番号	担当部会	分野	検討事項	開校年 X-4	開校年 X-3	開校年 X-2	開校年 X-1	開校年 X	スケジュール及び補足
48	教育・学校運営	部活動	部活動を含む課外活動			○	○	○	部活動の地域展開を進めながら検討していく。
49	教育・学校運営	部活動	クラブハウスの整備	○	○	○	○	○	部活動地域展開と併せて検討する。
50	教育・学校運営	部活動	部活動 現中1生への対応			○	○	○	部活動の地域展開を進めながら検討していく。
51	教育・学校運営	部活動	部活動 現小6生への対応				○	○	部活動の地域展開を進めながら検討していく。
52	教育・学校運営	部活動	部活動 各大会への参加	○	○	○	○	○	部活動の地域展開を進めながら検討していく。
53	教育・学校運営	部活動	部活動 合同部活対応	○	○	○	○	○	部活動の地域展開を進めながら検討していく。
54	教育・学校運営	部活動	備品の整備・調整			○	○	○	2校間の調整を行い、以降必要に応じて予算要望する。
55	教育・学校運営	部活動	ユニフォーム			○	○	○	開校2年前から両校での交流活動と併せて検討する。
56	教育・学校運営	部活動	地域人材の確保	○	○	○	○	○	引き続き部活動指導員の確保に努めていく。
57	教育・学校運営	事前交流	教員間の交流			○	○	○	合同研修などでの人事交流ができると良い。生徒指導の在り方や、教育方針等、教員間にある様々な感覚の違いを是正するため、話し合いが必要。
58	教育・学校運営	事前交流	生徒間の交流		○	○	○	○	統合を円滑に進めるために、統合時の生徒間の交流が必要。特に統合前2年間については、可能な限り積極的に交流事業に取り組む。
59	教育・学校運営	事前交流	交流活動 (小学校を含めて)		○	○	○	○	統合を円滑に進めるために、統合時の生徒間の交流が必要。特に統合前2年間については、可能な限り積極的に交流事業に取り組む。
60	教育・学校運営	教職員	勤務時間				○	○	情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
61	教育・学校運営	教職員	市職員配置				○	○	開校1年前から教員配置と併せて検討する。
62	教育・学校運営	事務関係	書類の整理保管、移動、廃棄		○	○	○	○	学校の統合に伴う書類の整理、保管、移動、廃棄を含め検討を開始する。
63	教育・学校運営	事務関係	振替金額の年間計画		○	○	○	○	統合校は、各校の予算事務・徴収方法を踏まえながら、市内共同実施等で事務職員に指導を仰ぎ、旅行積立金額、学校徴収金(学習に関する)金額、徴収方法、金融機関等、情報交換を含め検討し、計画を策定する。
64	教育・学校運営	事務関係	振替口座作成依頼		○	○	○	○	同上
65	教育・学校運営	事務関係	各種会計簿の残金確認		○	○	○	○	同上
66	教育・学校運営	防災	災害時対応通知	○	○	○	○	○	現在、学校と保護者、地域をつなぐための連絡システム「すぐる」にて通知を行っている。
67	教育・学校運営	危機管理	危機管理マニュアル策定				○	○	佐織西中の危機管理マニュアルを基に作成し修正を加える。
68	教育・学校運営	危機管理	避難訓練の計画			○	○	○	開校2年前より情報交換を含め検討し、開校前年度に素案を作成する。
69	教育・学校運営	その他	統合後のサポート体制	○	○	○	○	○	引き続き、心のケア体制を構築し、専門家や関係機関と連携しながら生徒が安心して学校生活を送れるようにサポートしていく。



番号	担当部会	分野	検討事項	開校年 X-4	開校年 X-3	開校年 X-2	開校年 X-1	開校年 X	スケジュール及び補足
70	教育・学校運営	その他	小中連携	○	○	○	○	○	現在において継続して実施している。
71	教育・学校運営	その他	開校年度に関する 各種調査への回答				○	○	開校前に回答できる各種調査(例:進路状況調査)は前年度分を翌年度に調査・報告する。
72	教育・学校運営	その他	住所、メルアド、HP開設				○	○	学校名が決定したうえで、メルアド、HP開設を行う。
73	施設・通学路	学校施設	教室配置	○	○				情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
74	施設・通学路	学校施設	教室及び環境整備	○	○				情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
75	施設・通学路	学校施設	職員室の配置	○	○				開かれた、生徒が入りやすい職員室の配置を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
76	施設・通学路	学校施設	職員室における 座席増設	○	○				情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
77	施設・通学路	学校施設	生徒用ロッカーの大型化	○	○				情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
78	施設・通学路	学校施設	机・椅子の大型化			○	○	○	情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
79	施設・通学路	学校施設	机・椅子(生徒用の確保)			○	○	○	情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
80	施設・通学路	学校施設	トイレの整備	○	○				情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
81	施設・通学路	学校施設	エアコン増設	○	○				情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
82	施設・通学路	学校施設	特別教室へのエアコン移設		○	○	○	○	情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
83	施設・通学路	学校施設	空調管理(冷暖房、空気清浄等)	○	○				情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
84	施設・通学路	学校施設	Wifiの環境整備	○	○				情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
85	施設・通学路	学校施設	更衣室の整備	○	○				情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
86	施設・通学路	学校施設	みんなで食事ができる カフェテリア	○	○				情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
87	施設・通学路	学校施設	駐輪場の整備	○	○				情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
88	施設・通学路	学校施設	駐車場の整備	○	○				情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
89	施設・通学路	学校施設	必要備品の検討		○	○	○	○	2校間の調整を行い、以降必要に応じて予算要望する。
90	施設・通学路	学校施設	個人の所有品管理				○	○	情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
91	施設・通学路	学校施設	外部からの侵入対策	○	○				情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
92	施設・通学路	学校施設	施設・施設の老朽化対策 (避難所としての機能)	○	○				情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
93	施設・通学路	学校施設	魅力ある学校	○	○	○	○	○	情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
94	施設・通学路	統合校舎	生徒職員下駄箱	○	○				情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。



番号	担当部会	分野	検討事項	開校年 X-4	開校年 X-3	開校年 X-2	開校年 X-1	開校年 X	スケジュール及び補足
95	施設・通学路	プール関連	運用調整(小との関連)	○	○	○	○	○	情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
96	施設・通学路	プール関連	補修整備	○	○	○	○	○	情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
97	施設・通学路	防災	防災グッズの整備			○	○	○	情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
98	施設・通学路	防災	電気自動車用の充電場所	○	○				情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
99	施設・通学路	跡地利用	跡地利用の検討			○	○	○	情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
100	施設・通学路	教科・管理備品	備品台帳の整備・調整		○	○	○	○	2校間の整備・調整の検討を開始する。
101	施設・通学路	教科・管理備品	不足分の備品搬入				○	○	2校間の調整を行い、以降必要に応じて予算要望する。
102	施設・通学路	教科・管理備品	廃校後の校内整理					○	2校間の整備・調整の検討を開始する。
103	施設・通学路	教科・管理備品	統合校への備品搬入				○	○	2校間の調整を行い、以降必要に応じて予算要望する。
104	施設・通学路	教科・管理備品	図書室蔵書の調整と移動		○	○	○	○	2校間の整備・調整の検討を開始する。
105	施設・通学路	教科・管理備品	歴史的資料・書籍		○	○	○	○	歴史的資料・書籍の検討・調査を開始し、開校前に移設を行う。
106	施設・通学路	コンピュータ備品	職員コンピュータの調整と移動				○	○	情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
107	施設・通学路	コンピュータ備品	タブレット搬入				○	○	情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
108	施設・通学路	コンピュータ備品	ICT備品確認・調整			○	○	○	情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
109	施設・通学路	コンピュータ備品	大型モニター・電子黒板調整と移動				○	○	情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
110	施設・通学路	通学	通学路の指定(メイン道路)	○	○	○			情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
111	施設・通学路	通学	通学路の防犯カメラ整備(公共or個人)	○	○	○			情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
112	施設・通学路	通学	通学方法の検討	○	○	○			情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
113	施設・通学路	通学	自転車通学規約	○	○	○			情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
114	施設・通学路	通学	通学体験	○	○	○	○		生徒が安全に登下校できるように、開校1年前までに通学体験の実施に向け計画する。
115	地域課題	地域	中学生のボランティア活動	○	○	○	○	○	現在両校で実施されているボランティア活動を含め情報交換を行う。
116	地域課題	地域	地域との相互理解を進める話し合いの場			○	○	○	子どもたちの成長を支えることを目指し、地域と学校が連携・協働できる話し合いの場を設ける。
117	地域課題	地域	キャリア学習(地域交流)			○	○	○	現在行われている地域交流の取組を含め両校で情報交換を行い、必要に応じて年間行事計画に反映する。
118	地域課題	地域	地域住民が入りやすい学校	○	○				情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
119	地域課題	地域	土日の図書室の地域利用	○	○				情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。

番号	担当部会	分野	検討事項	開校年 X-4	開校年 X-3	開校年 X-2	開校年 X-1	開校年 X	スケジュール及び補足
120	地域課題	地域	地域の行事				○	○	情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
121	地域課題	学校運営・地域	PTAの在り方	○	○	○	○	○	2校間の情報を共有し、素案を作成する。開校前までにPTA総会及び役員会等で方針、原案作成及びその承認を行う。
122	地域課題	地域	学校評議員	○	○	○	○	○	情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
123	地域課題	地域	地区まちづくり			○	○	○	情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
124	地域課題	地域	コミュニティスクール	○	○	○	○	○	地域住民や保護者、学校関係者が一体となって学校運営に関わるコミュニティスクールの導入に向けて取り組む。
125	地域課題	地域	地域学習における人材の確保	○	○	○	○	○	現在行われている地域学習の取組を含め両校で情報交換を行い、人材の確保に努める。
126	地域課題	地域	地域学習(行事・祭礼)				○	○	情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
127	地域課題	地域	地域学習(地域振興)				○	○	情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
128	地域課題	地域	地域学習(防災)				○	○	情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
129	地域課題	その他	子供たちの意見聴取の機会		○	○	○	○	必要に応じて、生徒の意見聴取の機会を設ける。

(案)

永和中学校屋内運動場  
老朽化対策基本構想・基本計画

2026年1月

## 目次

1.	本基本構想・基本計画の背景と目的	1
2.	与条件の整理	2
2-1.	永和中学校の概要	2
(1)	施設概要	2
(2)	通学区域	4
(3)	生徒数・学級数の推移	4
(4)	周辺状況	5
(5)	現況写真	6
(6)	主な工事履歴	8
2-2.	施設整備に係る条件整理	9
(1)	敷地概要	9
(2)	施設の老朽化状況	10
(3)	現施設の課題	11
3.	基本方針の検討	14
3-1.	検討方針	14
3-2.	改築・長寿命化改修の比較	14
(1)	改築・長寿命化改修の特徴	14
(2)	改築・長寿命化改修の比較	15
(3)	小学校との一体化検討	16
4.	配置計画の検討	17
4-1.	必要諸室・規模の検討	17
4-2.	配置案の比較	19
4-3.	利用者からの意見収集	20
(1)	ワークショップ	20
(2)	教職員ヒアリング	22
(3)	生徒アンケート	23
4-4.	配置方針	24
5.	基本計画案	25
5-1.	配置計画、外構計画	25
5-2.	平面計画、各室計画	26
5-3.	断面計画	28
5-4.	その他の整備方針	28
5-5.	事業手法の検討	29
5-6.	事業スケジュール	32

## 1. 本基本構想・基本計画の背景と目的

全国的に少子化が進行する中、愛西市でも児童生徒数は年々減少傾向にあり、多くの小中学校で小規模化が進んでいるのが現状です。愛西市の人口の将来推計では、今後も少子化の進行は避けられず、小中学校の小規模校のさらなる増加が進むことが予想されます。また、愛西市の小中学校は老朽化が深刻化しており、今後学校運営に支障を来すとともに学校生活の安全性にも影響を及ぼすおそれがあります。現状のままだと将来的に、教育環境への様々な課題が生じることが懸念されています。

各学校で教育課程を編制する際の基準となる学習指導要領は、昭和33年に定められ、その後、ほぼ10年毎に改訂されています。小学校・中学校の学習指導要領は、平成29年3月に改訂され、これまで大切にされてきた、子どもの「生きる力」を育むため、知識の理解の質を高め資質・能力を育む「主体的・対話的で深い学びの実現（アクティブ・ラーニング）」の視点からの授業改善が盛り込まれています。また、令和3年1月の中央教育審議会で、2020年代を通じて実現を目指す学校教育を『令和の日本型学校教育』とし、その姿を「全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学び」としています。これらの実現のため、ICT環境の整備や多様な学習展開に対応できる多目的スペースの整備が求められています。さらに、インクルーシブ教育システムの構築や合理的配慮の基礎となる環境整備（バリアフリー化）や有事の際の避難所としての防災機能、学校における働き方改革の推進、脱炭素社会の実現に貢献する施設整備など、学校施設に求められる機能は多岐に渡ります。

愛西市では、子どもたちにとってより良い教育環境を整えるため、取り巻く環境の変化等を踏まえつつ、将来を見通した学校統廃合等の具体的施策を示すことを目的として令和6年3月に「愛西市立小中学校適正規模等並びに老朽化対策基本計画」を策定しました。この計画の具体的施策として、学校施設の老朽化対策等に「空調設備の整備」「バリアフリー化」「予防保全」「照明のLED化」を挙げています。永和中は老朽化区分Ⅱ（健全度調査を踏まえ、改築または改修の計画策定を早急に実施する）ですが、屋内運動場の漏水が喫緊の課題となっていることから老朽化対策を検討することとなりました。

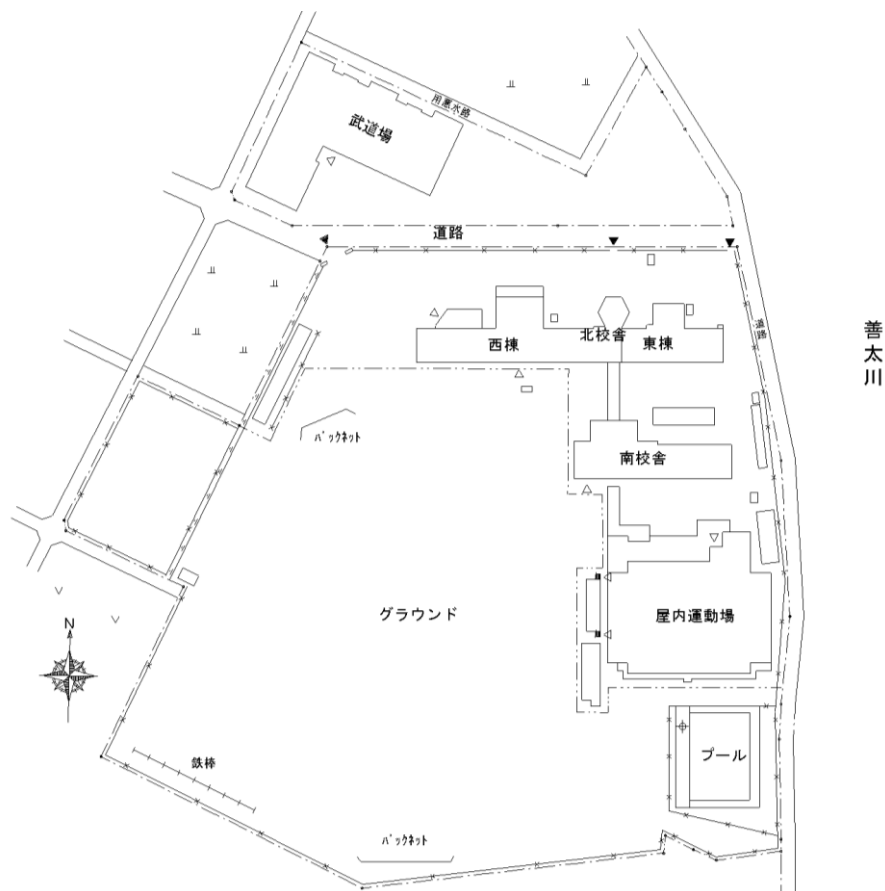
本基本構想・基本計画は施設の老朽化状況やこれからの学校施設に必要な機能整理を行い、老朽化対策の基本的な方向性を示し、設計を進めるうえで必要な基本条件を整理することを目的とします。

## 2. 与条件の整理

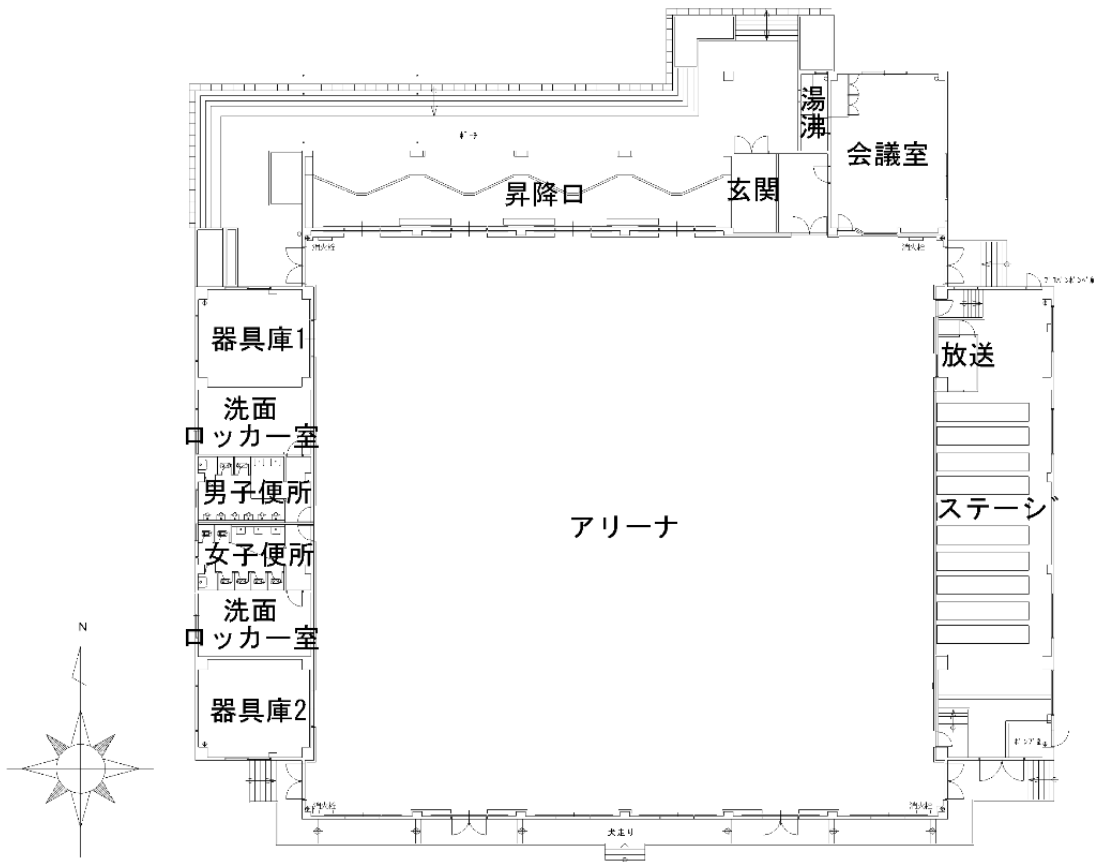
### 2-1. 永和中学校の概要

#### (1) 施設概要

所在地	愛西市善太新田町七草平 111-1					
敷地面積	32,747 m <sup>2</sup>					
施設内容	建物敷地 13,182 m <sup>2</sup> 、運動場用地 19,565 m <sup>2</sup>					
延床面積	校舎 4,787 m <sup>2</sup> 、屋内運動場 1,500 m <sup>2</sup> 、武道場 1,373 m <sup>2</sup>					
施設	棟別	棟	建築年	面積 (m <sup>2</sup> )	構造	階数
	北校舎	西棟	昭和 44 年	2,094	RC	3
		東棟	昭和 51 年	1,069	RC	3
	南校舎		昭和 58 年	1,624	RC	3
	屋内運動場		昭和 54 年	1,500	RC	1
武道場		平成 11 年	1,373	S	1	

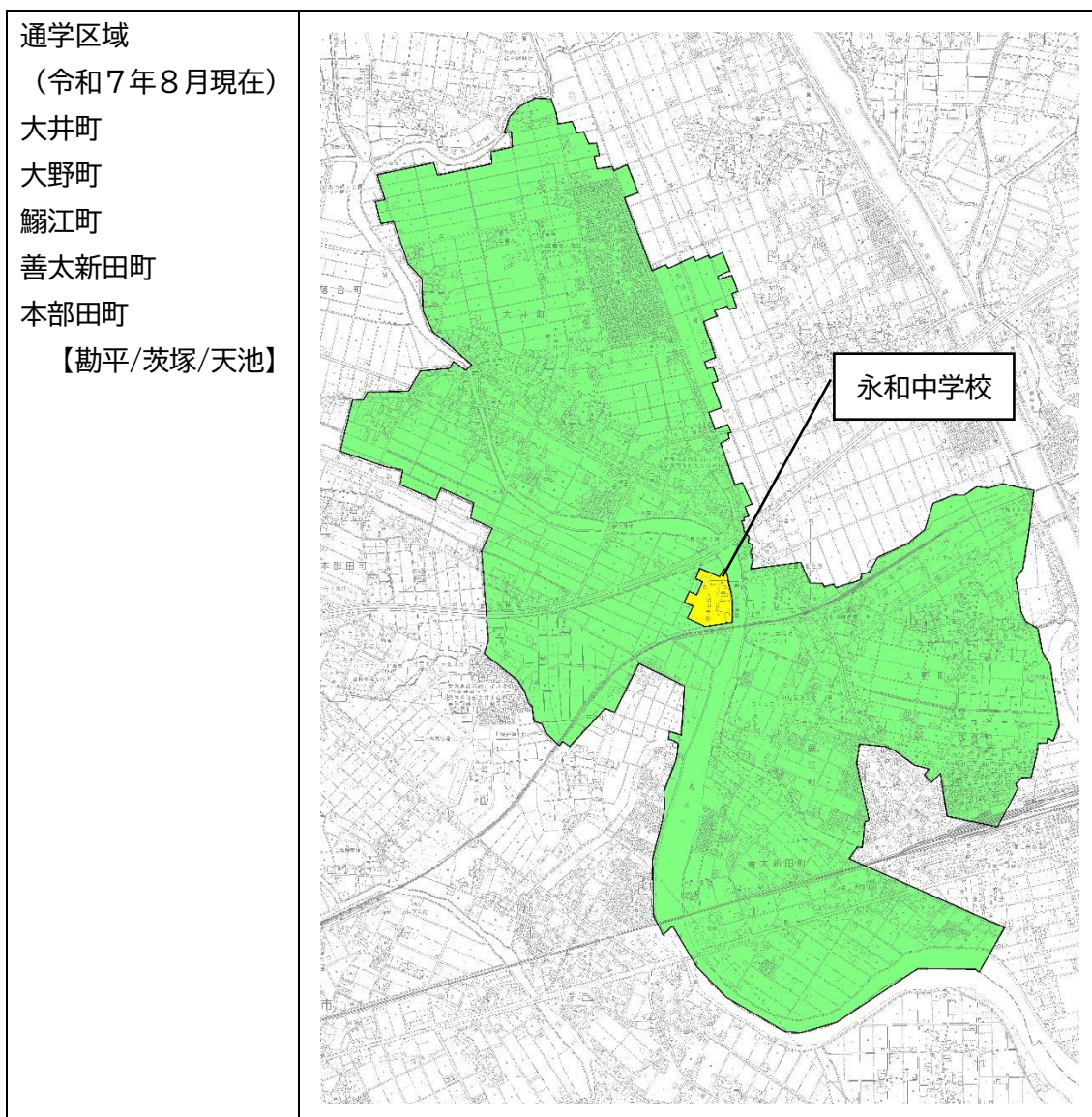


現況配置図



屋内運動場現況平面図

## (2) 通学区域



## (3) 生徒数・学級数の推移

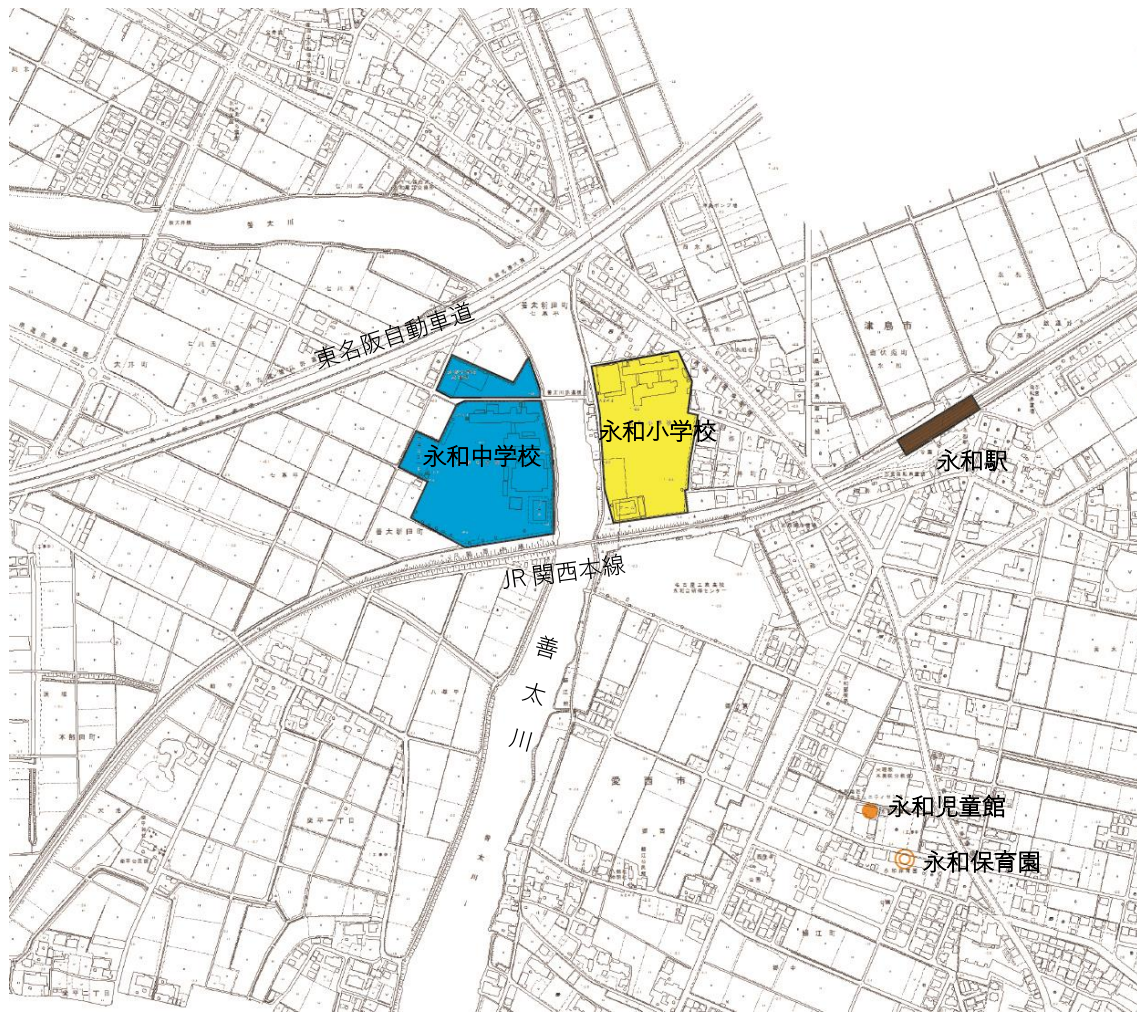
年度	H20	H25	H30	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
生徒数	205	215	223	200	193	175	170	164	157	143	122	141
学級数 (通常学級)	6	7	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6
学級数 (支援学級)	1	1	2	3	3	3						

※令和7年5月1日現在の推計




#### (4) 周辺状況

永和中学校は、JR 関西本線永和駅の西約 500mに位置しています。周辺には、東側に善太川と永和小学校、南側に JR 関西本線の線路、北側に東名阪自動車道、西側は田んぼとなっています。



#### <凡例>

	小学校		中学校		
	児童館		民間保育所		駅



(5) 現況写真

 <p>屋内運動場</p>	 <p>校庭</p>	 <p>テニスコート</p>
 <p>クラブハウス</p>	 <p>屋外倉庫</p>	 <p>武道場</p>
 <p>屋外トイレ</p>	 <p>相撲場</p>	 <p>校舎東側</p>
 <p>正門（北西側出入口）</p>	 <p>北側道路</p>	 <p>西側道路</p>
 <p>北側出入口</p>	 <p>北東側出入口</p>	 <p>橋</p>





(6) 主な工事履歴

昭和 44 年度	新校舎竣工
昭和 51 年度	北館東側校舎増築工事
昭和 52 年度	プール竣工
昭和 54 年度	屋内運動場竣工
昭和 58 年度	南館竣工
平成 7 年度	クラブハウス竣工
平成 11 年度	武道場竣工
平成 12 年度	体育倉庫新築
平成 17 年度	校舎耐震補強工事
平成 21 年度	体育館耐震補強工事
平成 28 年度	体育館非構造部材耐震工事
平成 29 年度	武道場非構造部材耐震工事
令和元年度	普通教室のエアコン設置工事
令和 2 年度	北館トイレ改修工事
令和 4 年度	音楽室・理科室のエアコン設置工事

## 2-2.施設整備に係る条件整理

### (1) 敷地概要

住居表示	愛西市善太新田町七草平 111-1
敷地面積	32,747 m <sup>2</sup>
地域地区	市街化調整区域、法 22 条区域
建ぺい率・容積率	60%、200%
日影規制	4時間、2.5時間、測定面4m
接道状況	北側：市道 号線、幅員 5.0～6.3m 東側：市道 号線、幅員 3.5～5.0m 西側：市道 号線、幅員 4.0m
都市設備	排水：浄化槽 ガス：愛西市ガス協同組合（LPガス） 電力：中部電力、岐阜電力
ハザードマップ	洪水浸水想定：0.5m～1.0m（計画規模）、3.0～5.0m（最大） 高潮浸水想定：5.0m以上 津波浸水想定：1.0m～3.0m（最大）




洪水ハザードマップ（木曽川水系、計画規模）



高潮ハザードマップ

※④：永和中学校

## (2) 施設の老朽化状況

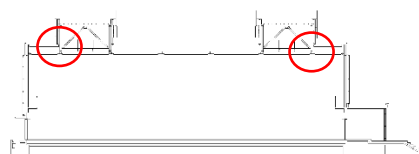
外観写真		建物概要			
		棟名	屋内運動場		
		建築年	S54 (1979年) / 築46年		
		構造・階数	RC・1階		
		延床面積	1,500㎡		
		主な諸室	屋内運動場		
		耐震改修	平成21年に実施		
躯体の劣化状況					
耐力度評点	鉄筋腐食度	かぶり厚さ	中性化深さ	躯体の状況	不同沈下量
3019点	柱：ほぼなし 梁：層状さび 壁：ほぼなし	1.4cm	2.56cm	ジャンカ多	なし
<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐力度調査の結果、4500点未満のため「老朽化が著しく構造上危険な状態にある建物」として危険改築の対象</li> <li>・中性化が進行しているため、中性化対策が必要（かぶり厚さが不足しているため全面的なかぶり厚確保が必要）</li> <li>・ジャンカ、ひび割れが見られるため、躯体補修が必要</li> <li>・現状は不同沈下が進行していないが、支持地盤に杭が到達していないため被災時に液状化した場合は不同沈下が進行する恐れがある</li> <li>・雨漏りにより鉄骨や鉄筋の腐食等が進行している恐れがある</li> </ul>					
その他の課題					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋根形状に凹凸があり、漏水しやすい屋根形状となっている</li> <li>・漏水しやすい換気口部分のキャットウォークや屋根への動線がタラップとなっており教職員による日常的な維持管理は困難</li> <li>・天井高さ、アリーナ広さがバレーボール、バスケットボールにやや不足</li> <li>・地上から1階床レベルまでの段差が大きい</li> <li>・会議室、更衣室が倉庫化しており附属諸室の面積が不足</li> </ul>					
長寿命化の適正					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・躯体の長寿命化のために大々的な補修・中性化対策等が必要</li> <li>・漏水対策、スポーツに適した広さ等、改修では根本的な改善が困難</li> </ul>					



### (3) 現施設の課題

#### ① 屋根からの漏水

凹凸の屋根形状の隅部から漏水が起こっています。屋根へのメンテナンス動線はタラップのみであり、日常的な維持管理は難しい状態です。防水改修を施したとしても 10 年程度で再び漏水が起こる可能性があり、抜本的な漏水対策が必要です。



屋根漏水箇所

#### ② 躯体補修の必要性

築 46 年を経過しており老朽化が進行しているほか、かぶり厚が不足しているため全面的な中性化対策が必要な状態です。



躯体の劣化

#### ③ 浸水対策

屋内運動場は地盤レベルから 1.15m 高い位置に計画されていますが、敷地の海抜レベルは -2.2m、ハザードマップでは洪水時の浸水想定が最大 5 m、高潮の想定は最大 5 m 以上となっています。大雨の際の浸水対策及び災害時の避難所としての浸水対策の検討が必要です。

#### ④ バリアフリー対応

出入口やトイレ等のバリアフリー化が未着手となっており、出入口のスロープ整備や車椅子利用者用のトイレの設置が必要です。



出入口の段差

#### ⑤ 動線計画

道路に対して屋内運動場が奥まった位置にあり、駐車場からも離れているため、地域開放時の利用者動線が長くなっています。



駐車場と屋内運動場の位置

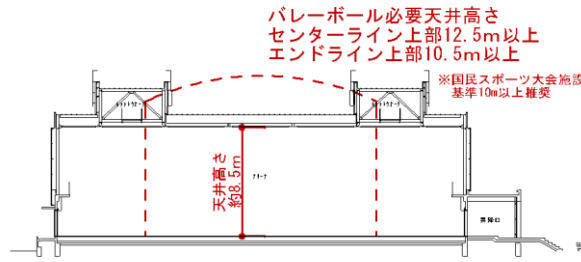


屋内運動場へ至る敷地東側の通路



⑥ 適切な運動環境の整備、使い勝手の改善

天井高さがやや低く、バレーボール等の際に天井にボールが当たる状態です。また、バスケットコートと壁とのスペース、コート間のスペースが小さく、衝突の危険性があります。空調についても未整備となっています。付属諸室についても、更衣室や会議室が倉庫状態になっており、本来の用途として使えていません。のびのびと運動できる適切な広さ、温熱環境の改善が必要です。



天井高さ



倉庫状態の会議室

⑦ 省エネ対策

断熱改修が行われていません。空調を整備するにあたっての省エネ対策、災害時の避難所としての居住性のため、断熱性向上や自然通風・採光等の自然エネルギー利用が必要です。

**学校施設のZEB化の推進**

- 2050年のカーボンニュートラル達成のためには、建築物の更なる省エネルギーや脱炭素化に向けた取組が不可欠。このためには、学校施設においても大幅な低炭素化が必要。
- 地域や関係省庁と連携して、モデルの構築を通じ、学校施設のZEB化の普及拡大を目指すことが必要。

**ZEB化の要素技術**

<b>省エネ</b>	窓、外壁	高性能断熱材、複層ガラス、二重サッシ 等
	空調、換気	空調のバypass利用（自然通風システム 等） 空調熱源・冷却塔の効率化（高効率熱源 等） 空調機の効率化・制御の高度化（高効率空調機、全熱交換器 等） 換気設備の効率化（高効率ファン 等） 換気制御の高度化（CO <sub>2</sub> 濃度制御 等）
	照明	照明のバypass利用（自然採光システム 等） 照明設備の効率化（高効率照明（LED等） 等） 照明制御の高度化（人感センサー 等）
<b>創エネ</b>		太陽光発電、地中熱利用、蓄電池 等

エコスクール 環境を考慮した学校施設の整備推進パンフレット（文部科学省）より

### 3. 基本方針の検討

#### 3-1. 検討方針

工事期間中も学校運営を継続する居ながら工事を前提とし、改築と長寿命化改修双方のメリット・デメリットを整理し、老朽化対策の方針を検討します。

#### 3-2. 改築・長寿命化改修の比較



##### (1) 改築・長寿命化改修の特徴

改築と長寿命化改修は一般的に以下のような特徴があります。長寿命化改修は躯体補修や内外装及び設備の更新を行うことで生活環境の改善や省エネ性能の向上を図ることが可能です。一方で躯体の構造条件から間取りを大きく変えることが困難なため、部屋の広さや動線計画の改善効果は限定的となります。また、一般的には全面改築より長寿命化改修の方が整備コストは安価ですが、劣化状況や仮設校舎の要否など事業費全体でのコストメリットの有無に留意が必要です。

	改築	長寿命化改修
学び	・これからの教育に適した広さや配置を計画できる	・間取り変更により利便性の向上は可能(ただし耐震壁の配置等により制限がある) ・基本的に部屋の広さを変えることができない
生活	・健やかな生活環境を計画できる	・内装や設備を改修することで生活環境の改善は可能(ただし採光・通風等の建物形状によるものは改善が難しい)
共創 (地域)	・地域への日影やプライバシーに配慮した計画が可能(ただし現状と変化することで影響は出る。規模が増加した場合は悪化する可能性がある)	・日影等の既存不適格の場合、改善が困難
安全	・必要な耐震性を確保した建物の計画が可能 ・必要な防災機能を確保した建物の計画が可能(ハザードに配慮した配置・レベル設定も可能) ・バリアフリーに配慮した建物の計画が可能	・補強、補修により耐震性・耐久性を向上可能(ただし既存躯体の劣化が激しいとコストがかかる) ・設備による防災機能の向上は可能(浸水レベル等の根本的な建物位置・高さによる対応は不可) ・改修やEVの増築によりバリアフリー化は可能(ただしスロープの設置でスペースが必要となる可能性がある)
環境	・時代に即した省エネ、創エネ性能を確保可能	・断熱、設備改修により省エネ性能の向上は可能 ・発電設備の設置は構造条件による
コスト	・長寿命化より工事費は高い	・改築に対する工事費の比率:0.6(ただし劣化状況により増加する可能性あり)

## (2) 改築・長寿命化改修の比較

永和中学校の屋内運動場の改築・長寿命化改修の比較は以下のとおりです。なお、改築の建物配置は一例です。

		【A案】長寿命化	【B案】改築
配置イメージ			
新しい教育環境	学習	(屋内) 広さ・天井高さがスポーツ利用にやや不足 (屋外) スポーツに適した広さを確保できる	(屋内) スポーツに適した広さ・天井高さを確保可能 (屋外) グラウンドの形状が歪になる ※クラブハウス・相撲場等も再配置すればスポーツに適した広さを確保可能
	生活	内装・設備改修により環境改善は可能	健やかな生活環境を計画できる
	共創	道路からのアクセスが困難	道路からアクセスしやすくなる
	安全	大々的な躯体補修が必要 体育館のバリアフリー化は可能 根本的な漏水対策ができない 浸水対策ができない 杭が支持地盤に到達していないため被災時は不同沈下が進行する恐れがある	必要な耐震・防災性能を確保できる 体育館のバリアフリー化は可能 浸水を考慮した床レベル設定ができる 維持管理を考慮した計画とできる
	環境	断熱、設備改修により性能の向上は可能	時代に即した省エネ、創エネ性能を確保可能
建設・改修コスト【比率】	長寿命化改修費用【1.00】	改築費用【1.71】 解体工事費用【0.15】 合計【1.86】	
工期中の施設利用	改修中は体育館使用不可	制限なし	

### ■基本方針の提案

既存体育館は漏水しやすい屋根形状となっており、屋根形状を変えることは構造的な負担を増加するため困難であることから、改修後も短期間で漏水対策が必要となる可能性が高い状態です。また、天井高さが低くバレーボールの際に支障がでる高さとなっています。現状でも支障のある天井高さのため、浸水を考慮して床レベルを上げることもできません。改修で解決できない課題が多いことから、永和中学校の屋内運動場は改築とすることを推奨します。

### (3) 小学校との一体化検討

永和中学校は永和小学校と隣接しているため、小学校との一体改築を検討します。なお、改築の建物配置は一例です。

	【B-1案】 小学校と中学校を別々に改築	【B-2案】 小学校と中学校を一体化 (小学校に配置想定)	【B-3案】 小学校と中学校を一体化 (中学校に配置想定)
配置イメージ			
面積	小学校：1,300㎡ ※既存1.2倍 中学校：1,800㎡ ※既存1.2倍 合計：3,100㎡	2,900㎡	2,900㎡
面積比率	1.00	0.93	0.93
メリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>小中それぞれ今までと環境は変わらない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>講堂利用とスポーツ利用に分ける、トイレ等を共用するなどにより若干面積が小さくなり別々に改築するよりコストが下がる</li> <li>2つのアリーナを利用できることで大会等の行事の際は利用の幅が広がる</li> <li>中学校のグラウンドは広くなる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>講堂利用とスポーツ利用に分ける、トイレ等を共用するなどにより若干面積が小さくなり別々に改築するよりコストが下がる</li> <li>2つのアリーナを利用できることで大会等の行事の際は利用の幅が広がる</li> <li>小学校のグラウンドは広くなる</li> </ul>
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>一体化よりややコストは高い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中学生は校舎～屋内運動場への動線で道路・橋を経由移動に時間がかかる、雨の日も屋外移動が必要になる</li> <li>小学校のグラウンドが狭くなる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学生は校舎～屋内運動場への動線で道路・橋を経由移動に時間がかかる、雨の日も屋外移動が必要になる</li> <li>中学校のグラウンドが狭くなる</li> </ul>

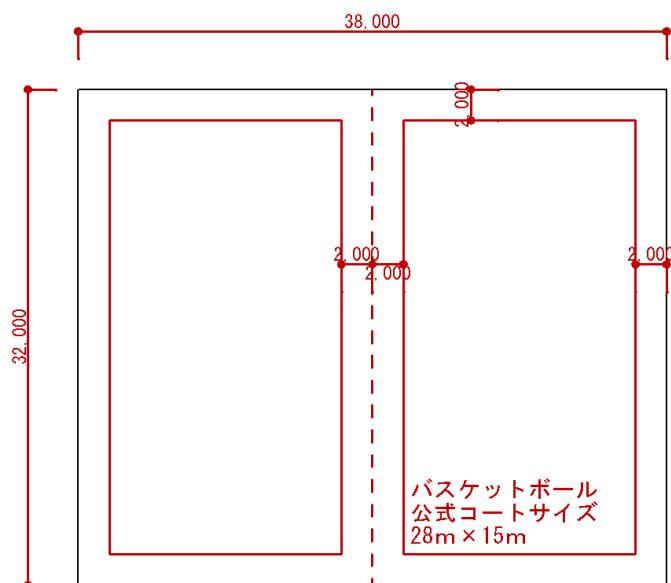
#### ■基本方針の提案

あまり共用できる機能が多くないため、一体化することによる面積減（＝コスト減）があまりありません。一体化することでイベント利用の使い勝手は広がりますが、授業の合間に屋外を通る必要があり、移動時間の増加や雨天時の移動の負担など、日常の授業利用には支障がでます。総合的にはデメリットの方が大きいと考え、屋内運動場は別々に改築することを推奨します。

## 4. 配置計画の検討

### 4-1. 必要諸室・規模の検討

アリーナはバスケットボールの公式コートサイズ 2 面が配置できる広さとします。付属諸室については、既存諸室と同規模を基本としつつ、器具庫については倉庫化している既存の会議室や更衣室分の面積を加えた面積とします。



アリーナサイズイメージ

部門	室名	室数	1 室面積	地域開放
屋内 運動場	アリーナ	1 室	1,200 m <sup>2</sup>	○
	ステージ	1 室	120 m <sup>2</sup>	○
	器具庫	適宜	合計 140 m <sup>2</sup>	○
	放送室 (ステージに含む)	1 室	6 m <sup>2</sup>	
	控室	1 室	12 m <sup>2</sup>	
	会議室	1 室	64 m <sup>2</sup>	○
	トイレ	男女各 1 室 だれでも 1 室	適宜	○
	更衣室	男女各 1 室	20 m <sup>2</sup>	○
	防災備蓄庫	1 室	40 m <sup>2</sup>	
	玄関	1 室	36 m <sup>2</sup>	○
	その他共用部・EV※	適宜	適宜	○
	<b>屋内運動場合計面積 約 2,000 m<sup>2</sup></b>			

※2 階建て以上の場合

【その他屋内運動場と一体整備を検討する屋外付帯施設】

部門	室名	室数	1室面積	地域開放
屋外付帯施設	屋外倉庫（農具庫、体育庫、石灰室、道具庫）	各1室	合計 100 m <sup>2</sup>	
	部室	3室	12 m <sup>2</sup>	
	ミーティング室	1室	24 m <sup>2</sup>	
	屋外トイレ	男女各1室 だれでも1室	適宜	
屋外付帯施設合計面積 約 200 m <sup>2</sup>				










【屋外施設】

- ・ 渡り廊下
- ・ 駐車場（屋内運動場開放時用）



#### 4-2. 配置案の比較

新屋内運動場の配置位置はグラウンド北側と既存屋内運動場位置の2カ所を比較します。また、それぞれの配置について平屋案と2階建て案を検討します。

	改築配置案 A (グラウンド北側配置)		改築配置案 B (既存同位置)		改築配置案 C (グラウンド南側配置)	
配置イメージ						
	【A-1】平屋	【A-2】2階建て	【B-1】平屋	【B-2】2階建て	【C-1】平屋	【C-2】2階建て
イメージ断面						
学習環境・運動環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>グラウンドが現状より狭くなる(不整形になる)</li> <li>職員室からグラウンドが視認しにくくなる</li> <li>校舎に日影の影響がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グラウンドが現状より狭くなる(不整形になる)</li> <li>職員室からグラウンドが視認しにくくなる</li> <li>校舎への日影の影響が A-1 よりやや大きい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グラウンドの利用は現状同等</li> <li>職員室からグラウンドへの視認性は現状同等</li> <li>校舎への日影の影響は配置案 A よりやや小さい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グラウンドの利用は現状同等</li> <li>職員室からグラウンドへの視認性は現状同等</li> <li>校舎への日影の影響は配置案 A よりやや小さい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グラウンドが現状より狭やくなる</li> <li>職員室からグラウンドへの視認性は現状同等</li> <li>校舎に日影の影響がない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グラウンドが現状よりやや狭くなる</li> <li>職員室からグラウンドへの視認性は現状同等</li> <li>校舎に日影の影響がない</li> </ul>
環境・避難所	<ul style="list-style-type: none"> <li>最大規模の津波・洪水・高潮の際は避難所利用できない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>津波の最大想定は避難所利用可(最大規模の洪水・高潮の際は避難所利用できない)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>最大規模の津波・洪水・高潮の際は避難所利用できない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>津波の最大想定は避難所利用可(最大規模の洪水・高潮の際は避難所利用できない)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>最大規模の津波・洪水・高潮の際は避難所利用できない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>津波の最大想定は避難所利用可(最大規模の洪水・高潮の際は避難所利用できない)</li> </ul>
地域開放	<ul style="list-style-type: none"> <li>北側駐車場に近くなるが、屋内運動場付近には駐車できない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1階ピロティに駐車場を確保可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>北側駐車場から遠く、屋内運動場付近に駐車できない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>北側駐車場から遠いが、1階ピロティに駐車場を確保可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>北側駐車場から遠いが、既存屋内運動場を解体し駐車場整備可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>北側駐車場から遠いが、1階ピロティに駐車場を確保可能</li> </ul>
比率※	<ul style="list-style-type: none"> <li>建設コスト【1.00】</li> <li>解体コスト(屋内運動場)【0.08】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>建設コスト【1.41】</li> <li>解体コスト(屋内運動場、屋外付帯)【0.10】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>建設コスト【1.00】</li> <li>解体コスト(屋内運動場)【0.08】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>建設コスト【1.41】</li> <li>解体コスト(屋内運動場、屋外付帯)【0.10】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>建設コスト【1.00】</li> <li>解体コスト(屋内運動場)【0.08】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>建設コスト【1.41】</li> <li>解体コスト(屋内運動場、屋外付帯)【0.10】</li> </ul>
工事環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>工事中も屋内運動場は利用可能</li> <li>新屋内運動場完成までの工期【約18カ月】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>工事中も屋内運動場は利用可能</li> <li>新屋内運動場完成までの工期【約20カ月】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>工事中は屋内運動場が使えない</li> <li>新屋内運動場完成までの工期【約24カ月】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>工事中は屋内運動場が使えない</li> <li>新屋内運動場完成までの工期【約26カ月】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>工事中も屋内運動場は利用可能</li> <li>新屋内運動場完成までの工期【約18カ月】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>工事中も屋内運動場は利用可能</li> <li>新屋内運動場完成までの工期【約20カ月】</li> </ul>

※【A-1】の改築コストを1とした場合の比率

#### 4-3.利用者からの意見収集

##### (1) ワークショップ

###### ①ワークショップ開催概要

対象者	永和中学校区にお住まいの方、永和中学校・永和小学校の体育館を利用している団体の方を対象に公募実施
開催日時	2025年12月20日（土）9：30～11：30
開催場所	永和地区防災コミュニティセンター
参加人数	6名
テーマ	①新しい屋内運動場に求めること ②新しい屋内運動場の配置について

###### ②ワークショップ実施結果

###### ■テーマ①：新しい屋内運動場に求めること

教育、防災拠点、地域利用、その他さまざまな視点でご意見をいただきました。特に、現状が雨漏りや仕上げの劣化等により通常の利用ができていないため、一刻も早く学校の体育館として子どもたちが通常の利用ができる環境を整備してほしいという意見が強くありました。また具体的な機能の優先事項として、室内環境整備としての空調設置、修繕がしやすい施設、防災面の強化が挙げられました。他自治体事例を参考に小学校との同時整備についても意見がありました。

###### グループワーク意見一覧

教育の場として	<ul style="list-style-type: none"> <li>・床が滑らないように</li> <li>・自然採光、明るさを均等に</li> <li>・環境（換気）の確保</li> <li>・冷暖房完備、暑さ対策</li> <li>・暗幕</li> <li>・バスケのゴールポスト電動に</li> <li>・電動カーテン</li> <li>・観覧席</li> </ul>
防災拠点として	<ul style="list-style-type: none"> <li>・更衣室、シャワー室</li> <li>・防災面の強化</li> <li>・耐震、免震、液状化対策、天井レス</li> <li>・太陽光発電と蓄電、非常用電源、省エネ</li> <li>・備品関係（避難所として）のスペース確保</li> <li>・浸水対応、嵩上げ</li> <li>・ボートの船着き場</li> </ul>
地域利用の場として	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バリアフリー、車椅子も可、スロープ</li> <li>・地域のみんが使える体育館、地域の健康維持</li> <li>・トイレ全て洋式</li> <li>・利用者の荷物を置く場所の確保</li> <li>・出入口から入って待機できる場所</li> <li>・トイレの位置を入口付近に</li> <li>・運動以外での活用（防災、文化ホール）</li> <li>・ジム等、児童以外も利用可</li> </ul>

その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ZEB 化、断熱（屋根、天井、窓、壁）</li> <li>・ 先進校の視察</li> <li>・ 小中合同で利用可</li> <li>・ 普通のこと普通でできる体育館に</li> <li>・ 工期を短くする（デザインビルド）</li> <li>・ 修繕がしやすい構造の体育館、デザインはシンプルがいい</li> <li>・ 照明取替やすいように</li> <li>・ 防音機能</li> <li>・ 生徒の意見を反映してほしい</li> </ul>
-----	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

■テーマ②：新しい屋内運動場の配置について

配置については各案一長一短あり、様々なご意見をいただきました。

A 案について、良い点としては小学校も含めた移動の容易さが挙げられましたが、一方で避難所利用時（学校再開時）の学校との距離感が懸念されていました。また、既存校舎への圧迫感、日影、職員室の視認性の懸念が挙げられ、その対応策として平屋や体育館への職員室設置が挙げられました。

B 案について、良い点としては生徒の利用しやすさ、懸念としては工期の長さ、工事中の体育館利用が挙げられました。

C 案について、良い点としては避難所利用や職員室からグラウンドの視認性、懸念としては校舎から体育館への移動距離の長さが挙げられました。

建物規模について、浸水時に避難所として利用できる高さ設定が求められました。ただし、A 案の場合は校舎への圧迫感や日影の影響を考慮し平屋建てが良いという意見がありました。

グループワーク意見一覧

A 案	<ul style="list-style-type: none"> <li>○雨天時の移動は楽、小学校も移動が楽</li> <li>○工期は短い</li> <li>×授業の邪魔（工事の音）</li> <li>×グラウンドが職員室から見えない</li> <li>×採光確保</li> <li>×圧迫感を感じないか</li> <li>×避難所としてはなし（校舎に近い）</li> <li>・体育館に職員室を入れるのもあり</li> </ul>
B 案	<ul style="list-style-type: none"> <li>○雨天時の移動が楽</li> <li>○生徒の目線では一番良いのでは</li> <li>×工期が長い</li> <li>×B 案はないんじゃないか</li> <li>×現況動線は不便（車の動線）</li> <li>×小学校への移動回数が増える（工事期間中）</li> <li>・災害時の動線を考慮してほしい</li> </ul>
C 案	<ul style="list-style-type: none"> <li>○避難場としては良いと思う（校舎から離れている）</li> <li>○職員室からグラウンドが見渡せる</li> <li>×移動時に暑い・寒い、屋根が欲しい</li> <li>×校舎から遠い、近い方が良い</li> <li>・現体育館跡地の利用方法は決まっているのか</li> </ul>
その他配置 <グラウンド南西>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○避難場としては良いと思う（校舎から離れている）</li> <li>×グラウンドの使い勝手悪い</li> <li>・プールをつぶしてグラウンドを広く</li> </ul>

平屋建て	<ul style="list-style-type: none"> <li>○2階案より工期は短い</li> <li>・もう少し嵩上げできないか</li> <li>・A案：平屋建て（圧迫感、日影を少なく）</li> </ul>
2階建て	<ul style="list-style-type: none"> <li>○避難所としては安全</li> <li>○1階駐車場で使える</li> <li>×2階に上がるのが大変、災害時のバリアフリー移動</li> <li>・安全を考慮して浸水時も避難所として使える高さに設定すべき</li> <li>・B、C案：2階建て</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・構造耐力、耐用年数が長い方がよい</li> <li>・クラブハウス、倉庫も改築したほうがいい</li> </ul>

## (2) 教職員ヒアリング

配置案をもとに教職員にアンケートを行いました。（回答 17 名）

### ①屋内運動場の配置について

C案が良いと思うという意見が一番多く、次いでB案が良いという集計結果でした。各案についての主な理由は次の通りです。

A案	<ul style="list-style-type: none"> <li>○出来る限り早く建ててもらいたい</li> <li>○近い方がありがたい</li> <li>×職員室からグラウンドが見渡せないと安全面に不安がある</li> <li>×グラウンドに建るとグラウンドが狭くなる</li> <li>×A案は校舎の日当たりが悪くなる</li> </ul>
B案	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校舎にも近く、光も遮らないので今の位置が良い</li> <li>○今までと同じ場所の方が使い勝手が良い</li> <li>×建替え期間中に屋内運動場が使えないデメリットが大きい</li> </ul>
C案	<ul style="list-style-type: none"> <li>○グラウンド面積があまり減らない、使用しない相撲場の部分に建てた方がスペースを確保できる</li> <li>○工事期間中も屋内運動場が使える</li> <li>○グラウンドを見渡すことができる</li> <li>×校舎から遠くなって不便</li> <li>×野球部とソフト部の練習の距離が近くなり危ない</li> </ul>

### ②屋内運動場の階数について

2階建てが良いという意見の方が多くありました。各案についての意見は次の通りです。

2階	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駐車場が確保できる、屋根のある駐車場は雨除けになる</li> <li>・水害を考えると2階建てがよい</li> <li>・1階に使い道がありそう</li> <li>・グラウンドに建てる場合は職員室から運動場が見えるような空間が欲しい</li> <li>・2階からアクセスできるのが良い</li> </ul>
平屋	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平屋で十分である</li> <li>・管理がしやすそう</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2階建てで1階に部屋を入れたい（ピロティは耐震面で不安）</li> <li>・多目的スペースや屋上プールをつくれないうか</li> </ul>

### ③屋内運動場に備えたい機能・設備



全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冷暖房完備</li> <li>・Wi-Fi 環境整備</li> <li>・バリアフリー（出入口、トイレなど）</li> </ul>
舞台機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大きいスクリーン、自動の暗幕・遮光カーテン</li> <li>・ひな壇を容易に設置できると良い</li> <li>・舞台は常設式の方が良い</li> </ul>
防災機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・備蓄庫が2階にあるとよい</li> <li>・災害などの時を考えるとEVだけでなく階段があると良い</li> </ul>
収納	<ul style="list-style-type: none"> <li>・椅子は舞台の下に収納できるようにしたい</li> <li>・器具庫には仕切をつけてそれぞれの入口があると良い</li> <li>・器具庫の扉が広く開くようにしてもらいたい</li> <li>・社会体育用の倉庫があると良い</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ギャラリーへは舞台袖（上手下手）から上がれるようにしてほしい</li> <li>・ミーティング等ができる冷暖房完備の会議室があると良い</li> <li>・渡り廊下に下駄箱があると良い</li> <li>・屋内でソフトテニスができるようにしてほしい</li> <li>・自動収納できるバスケットゴール</li> <li>・現屋内運動場跡地は土でなくコンクリートにしてほしい（草が生えて管理が大変）</li> </ul>

### (3) 生徒アンケート

全校生徒を対象に新しい屋内運動場についての意見を募りました。主な意見は次の通りです。

規模・構造	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2階建てが良い（雨の日に部活動ができる、平屋だと他クラスと授業が重なると使えない、洪水きてもいいような体育館がいい）</li> <li>・全校生徒が入れるくらい広くしてほしい（避難所になっているから、たくさん部活ができるから）</li> <li>・屋根を斜めにしてほしい（雨漏りしにくいから）</li> <li>・耐震構造にしてほしい（避難所になるから）</li> <li>・1階建てが良い（2階建てだと地震で崩れるかもしれないから）</li> </ul>
建物全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雨漏りをしないようにしてほしい</li> <li>・天井、壁、床、バスケットゴールを丈夫にしてほしい</li> </ul>
配置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車小屋に影響がなければいい</li> <li>・同じ場所に建設してほしい</li> <li>・今の体育館とは違う場所に作って欲しい</li> <li>・相撲場のところに作って欲しい</li> <li>・位置はそのままが良い</li> <li>・駐車場のところに建てて武道場とつなげる</li> </ul>
アリーナ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・天井を高くしてほしい（ボールがすぐに当たってしまう）</li> <li>・もう少し広くしてほしい</li> <li>・ラインをはっきり分かるようにしてほしい</li> <li>・もっと光を遮られるようにしてほしい（スクリーンを見る時に見にくい）</li> <li>・仕切用カーテンを1階からでも閉められるようにしてほしい</li> </ul>
ギャラリー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観覧席がほしい（スポーツ大会ができるから、休憩できるから、試合を上から見たいから）</li> <li>・ランニングコースがほしい</li> <li>・体育館上の通路を広くしてほしい（狭くて躓いたら危険）</li> <li>・上の窓にいく階段を安全なものにしてほしい</li> </ul>
舞台	<ul style="list-style-type: none"> <li>・舞台を低くしてほしい</li> <li>・舞台に上る階段を運ばなくてもいいように元から取り付けて欲しい</li> <li>・スクリーンを電動にする</li> </ul>

トイレ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレをきれいにしてほしい</li> <li>・全て洋式にしてほしい</li> <li>・数を多くしてほしい</li> <li>・便座を温かくしてほしい</li> <li>・手洗い場を自動にほしい</li> <li>・薄暗さを解消してほしい</li> </ul>
更衣室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレと別の場所で広くしてほしい（部活が終わった後にきれいな状態で帰りたい、狭くて不便）</li> <li>・シャワー室がほしい（部活で汗だくになったときや雨でぬれた時にほしい）</li> <li>・更衣室がほしい</li> <li>・男子更衣室をつくってほしい</li> </ul>
空調	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エアコンをつけてほしい</li> <li>・床暖房にほしい</li> </ul>
備品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・器具を新しくしてほしい（古いと怪我をする）</li> <li>・大きなモニターがほしい（体育で手本の動画を見てやりたい、自分のプレーを振り返られる、発表に使える）</li> </ul>
建具	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開けやすい軽い扉に変えてほしい</li> <li>・窓を一気に開けれるようにしてほしい</li> <li>・換気をしやすくしてほしい</li> <li>・窓やカーテンを簡単に開け閉めできるようにしてほしい</li> <li>・虫が入ってこないように網戸設置</li> </ul>
収納	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すぐに椅子を出せるようにしてほしい（芸術鑑賞会で床に座っているのが痛い）</li> <li>・倉庫がほしい</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地下シェルターがほしい（災害への対策）</li> <li>・畳ゾーンがほしい</li> <li>・休憩室がほしい</li> <li>・トレーニングルームが欲しい</li> <li>・ウォーターサーバーがほしい</li> <li>・2階建てだったらエレベーターをつけてほしい</li> <li>・校庭もリフォームしてほしい</li> <li>・学校全体の塗装</li> </ul>

#### 4-4.配置方針



## 5. 基本計画案

### 5-1. 配置計画、外構計画

## 5-2.平面計画、各室計画

### 【アリーナ周辺】

- ・ アリーナは公式バスケットボールコート2面が確保できる広さとします。複数の部活が同時利用できるよう中央にネットを設けます。
- ・ アリーナには高窓の開け閉め等に利用するギャラリー（キャットウォーク）を設けます。ギャラリーへは内部階段で容易にアクセスできるようにします。
- ・ ステージは常設とし、卒業式や集会等が実施できる舞台機構を設けます。
- ・ ステージに隣接して放送室及び控室を設けます。放送室からはアリーナの様子が視認できるようにします。
- ・ 器具庫はアリーナに直接出入り出来る位置に学校用・社会体育用・ピアノ収納用をそれぞれ確保します。学校用についてはまとめて設ける場合、荷物が出しやすいよう複数個所に出入口を設けます。

### 【付属諸室】

- ・ 男女それぞれの更衣室を設けます。更衣室はトイレとは分離して配置します。
- ・ 男女それぞれのトイレ及びだれでもトイレを設けます。トイレは全て洋式とします。
- ・ 地域開放や部活でのミーティングなどに利用できる会議室を設けます。
- ・ 防災備蓄庫を設けます。

### 【動線空間】

### 【屋外付帯施設】

平面イメージ

### 5-3.断面計画

### 5-4.その他の整備方針

- ・ 屋根・壁等の高断熱化を図るとともに、アリーナを含む各居室に冷暖房設備を設け、快適な室内環境となるよう配慮します。
- ・ 避難所として十分な耐震性を確保するとともに、天井やバスケットゴール等の非構造部材の落下防止対策を行い、安全性を向上させます。
- ・ 太陽光発電の設置など、災害時に避難所運営が行えるよう防災機能の整備を行います。
- ・ だれでもトイレやエレベータ・スロープの設置等、災害時も考慮した施設のバリアフリー化を行います。
- ・ ICT教育に対応できるよう Wi-Fi 環境を整備します。

## 5-5.事業手法の検討

### (1) 検討する事業手法

建物の設計～工事～維持管理において、一般的に以下の手法が想定されます。

#### 【従来方式(設計・施工分離方式)】

公共が自ら資金調達し、設計・建設・維持管理について、業務ごと(設計・施工・維持管理ごと)に仕様を定め個別に発注等を行う手法。

#### 【デザインビルド方式(設計・施工一括方式)】 以下、DB方式

民間事業者が設計・建設を一括して請け負い、実施する手法。維持管理は従来方式と同様、分割発注となる。

#### 【PFI方式】

民間事業者がPFI事業のみを行う特別目的会社(SPC)を設立し資金調達を行い、公共と事業契約を締結したうえで、設計・建設・維持管理を行う手法。所有形態のプロセスによりBTO、BOTの方式に細分化され(改修の場合はRO)、さらにサービス購入型、独立採算型、ミックス型の事業類型がある。

事業手法の特徴

事業手法	資金調達	発注形態				施設の所有	
		設計	建設	維持管理	発注内容	維持管理期間中	事業終了後
従来方式	公共	分離	分離	分離	仕様	公共	公共
DB方式	公共	一括	一括	分離	性能	公共	公共
PFI方式	民間	一括	一括	一括	性能	BTO：公共 BOT：民間	公共

(2) 各事業方式のメリット・デメリット

	従来方式 (設計・施工分離方式)	DB方式	PFI方式
発注者・利用者意見の反映	○ 設計段階で関係者と協議し設計成果へ反映させることができる	△ 設計前の契約時点で工事費を含めた事業費が確定するため、事業費に影響がでる変更が行えず、関係者の要望が十分に反映できない可能性がある	△ 設計前の契約時点で工事費を含めた事業費が確定するため、事業費に影響がでる変更が行えず、関係者の要望が十分に反映できない可能性がある
必要期間 (詳細は次項)	◎ 設計・工事それぞれの期間はDB・PFIより長いが発注を含めた事業全体の期間は1番短い	○ 施工者の独自ノウハウが発揮できる場合は工事期間の短縮が見込めるが、今回の計画・規模では大きな短縮が見込めない。発注準備及び事業者選定期間が従来方式より長い	△ 施工者の独自ノウハウが発揮できる場合は工事期間の短縮が見込めるが、今回の計画・規模では大きな短縮が見込めない。発注準備及び事業者選定期間が他手法より長い
財政負担	○ ●設計者、施工者それぞれの発注となるため競争性による費用削減効果が見込める ▲一括で支払うため建設段階での財政負担が大きい	△ ▲業者選定時の手間が多いため参加事業者が少なく競争性による費用削減効果が少ない。施工者の独自ノウハウが発揮できる場合は費用の縮減が見込めるが、今回の計画・規模※では大きな縮減が見込めない ▲一括で支払うため建設段階での財政負担が大きい	○ ▲SPCの組成が必要なため発注時の参加事業者が少なく競争性による費用削減効果が少ない。施工者の独自ノウハウが発揮できる場合は費用の縮減が見込めるが、今回の計画・規模※では大きな縮減が見込めない。PFIのための調査やアトバ イザリ等の追加経費がかかる ●割賦方式による支払いとなるため市の財政負担を事業期間で平準化できる
品質確保	○ 発注者・設計者(監理者)による監督・照査により品質を確保できる	△ 設計と施工を分離して発注した場合と比べて、設計者の視点や発注者におけるチェック機能が働きのにくい	△ 設計と施工を分離して発注した場合と比べて、設計者の視点や発注者におけるチェック機能が働きのにくい
維持管理	△ 業務毎に発注が必要。不具合が生じてからの対応となることが多い	△ 業務毎に発注が必要。不具合が生じてからの対応となることが多い	○ SPCがまとめて発注。予防保全が可能

※DB方式やPFI方式で期待できる民間の独自ノウハウとは、自社開発の特殊な工法を利用した大空間整備や工事難易度の高い敷地での施工計画などであり、一般の学校屋内運動場の計画では従来工法との差は見込めない。



### (3) 新屋内運動場供用開始までの期間の比較検討

事業方式ごとに基本計画策定後から新屋内運動場供用開始までの期間を比較検討しました。なお、設計業務については、効率的な業務実施と業務実施期間の確保の観点から、基本設計と実施設計を一括で発注することとします。また、DB方式及びPFI方式の場合は設計期間中の先行工事着手により期間を短縮することを想定しています。

事業手法ごとの想定スケジュール

事業手法	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
従来方式 (入札)	選定	基本設計・実施設計	選定	建設工事	
DB方式	選定	DB発注準備	選定	基本設計・実施設計	建設工事
PFI方式	選定	可能性調査	選定	PFI発注準備	選定
			基本設計・実施設計		建設工事

### (4) 採用する事業手法

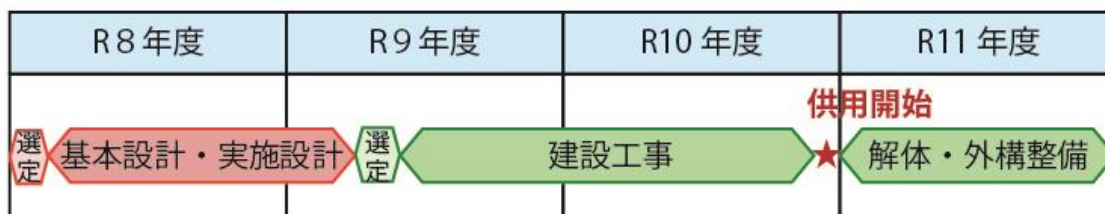
永和中学校の屋内運動場は漏水や内装等劣化により通常の学校活動に支障がある状態であり、早急な環境改善が望まれています。DB方式、PFI方式は従来手法より設計・工事期間を短縮することができますが、設計施工一括発注のための発注準備及び工事費を算出するための事業者選定期間が従来手法より長く必要となるため、新屋内運動場の供用開始は従来手法が1番早くなります。また、DB方式やPFI方式は設計と施工を一括で契約するため、契約時点で工事費を含めた事業費が決定しており、事業費に影響が出るような設計変更に対応できない恐れがあります。

以上の検討を踏まえ、新屋内運動場の建設においては、供用開始までの期間及び発注者が求める機能・性能の確保の観点から、設計・施工分離発注方式(従来方式)を採用することとします。

## 5-6.事業スケジュール

### (1) 事業スケジュール

令和10年度の卒業式を新屋内運動場で行うことを目標に事業を進めていきます。



事業スケジュール

工事ステップ図